

農地整備事業(経営体育成型)

土地改良事業計画書(第3回変更)
(区画整理)

県 地 施 事	区 行 業 主	名 名 地 体	岩 星 紫 岩	山 波	・ 郡 手	犬 紫 波	手 森 町 県
------------------	------------------	------------------	------------------	--------	-------------	-------------	------------------

土 地 改 良 事 業 計 画 書
目 次

第1章	目 的	1	2.	土 地 利 用 区 分	26
第2章	地 域 及 び 地 積	1	3.	作 付 方 式	27
第1節	地 域	1	4.	生 産 計 画	28
第2節	地 積	1	5.	労 働 改 善 計 画	29
第3章	現 況	2	6.	級地別土地利用区分	30
第1節	気 象 及 び 海 象	2	7.	土地配分計画	30
1.	一 般 気 象	2	第3節	用 水 計 画	31
2.	特 殊 気 象	3	1.	計 画 基 準 年	31
3.	海 象	3	2.	計画かんがい方式	31
第2節	土 地 状 況	4	3.	計画用水系統	32
1.	地形、土壌及び侵食の程度	4	4.	計 画 用 水 量	33
2.	土 地 分 類	6	5.	水 源 計 画	35
3.	土地利用の状況	7	第4節	排 水 計 画	40
4.	土地所有の状況	8	1.	計 画 基 準 雨 量	40
第3節	水 利 状 況	9	2.	計 画 排 水 方 式	40
1.	用 水 状 況	9	3.	計 画 排 水 系 統	41
2.	排 水 状 況	15	4.	計 画 排 水 量	42
3.	河 川 状 況	18	5.	排 水 対 策	43
第4節	道 路 現 況	19	6.	た ん 水 検 討	45
1.	道 路 概 況	19	第5節	道 路 計 画	46
2.	主要道路一覧表	19	1.	道 路 及 び 索 道	46
第5節	地域農業の概況	20	2.	路 線 配 置 図	47
1.	産業別就業人口	20	第6節	農用地造成計画	48
2.	経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数	21	1.	農用地造成計画	48
3.	動力農機具及び主要家畜頭数	22	2.	土 壌 改 良	49
4.	主要作物作付状況	23	第7節	洪水調節計画	50
5.	農 業 の 動 向	24	1.	計 画 基 準 雨 量	50
第6節	地域環境の概要	24	2.	計画洪水量及び調節量	50
第4章	一 般 計 画	25	3.	貯 水 池	50
第1節	事業計画の要旨	25	4.	洪水調節検討	51
1.	要 旨	25	5.	管 理 計 画	51
2.	事 業 別 面 積	25	第8節	干 拓 計 画	51
第2節	営農計画及び土地利用計画	26	第9節	農用地整備計画	52
1.	営農計画の概要	26	1.	区 画 整 理	52

2. 暗 渠 排 水	54
3. 客 土	55
4. 農 地 保 全	56
第10節 老朽ため池改修計画	58
1. 洪水吐改修計画	58
2. 堤体補強計画	58
3. 取水施設改修計画	58
第5章 主要工事計画	59
第1節 用水施設	59
1. 貯 水 池	59
2. 頭 首 工	60
3. 揚 水 機	61
4. 用 水 路	62
5. その他のかんがい施設	63
第2節 排水施設	64
1. 排 水 水 門	64
2. 排 水 機	64
3. 排 水 路	65
4. その他排水施設	65
第3節 道路及び索道	66
1. 道 路	66
2. 索 道	67
第4節 農用地造成	68
1. 農 用 地 造 成	68
2. 土 壌 改 良	69
第5節 洪水調節施設	70
1. 貯 水 池	70
2. 頭首工及び導水施設	70
第6節 干拓施設	71
第7節 農用地整備施設	72
1. 区 画 整 理	72
2. 暗 渠 排 水	72
3. 客 土	73

4. 除 礫	73
5. 農 地 保 全	74
第8節 老朽ため池改修施設	76
1. 貯 水 池	76
2. 堤 体 補 強 施 設	76
第6章 附帯工事計画	77
第7章 工事の着手及び完了の予定時期	77
第8章 環境との調和への配慮	77
第9章 換地計画の概要	78
第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方	78
第2節 換 地 区 の 設 定	78
1. 換地区の名称、所在、面積	78
2. 換地区を設定する理由	78
第3節 換地計画樹立の基本方針	79
1. 従前の土地の面積の基準	79
2. 用途別予定地積	79
3. 農用地集団化の方針	80
4. 非農用地の換地方法	80
第4節 土地の評価及び清算の方法	81
1. 評 価 の 方 法	81
2. 清 算 の 方 法	81
第5節 換地計画樹立の年度計画	81
第6節 換地処分 of 時期に関する特則	81
第10章 事業費の総額及び内訳	82
第11章 効 用	83
第12章 関 連 す る 事 業	84
第13章 現 況 ・ 計 画 図 面	84
1. 現 況 平 面 図	84
2. 計画平面図及び土地利用計画図	84
3. 主 要 構 造 図	84

上段:変更後
下段:変更前

第1章 目 的

〃

本計画区域は、紫波町中心部より東約2kmに位置し、北上川左岸に拓けた水田農業地帯で、旧星山、犬吠森集落として一体的な地域である。

積雪寒冷地事業（昭和33年～35年）により10a区画に整備された地域であるが、区画は10aと狭小で農道は3m程度と狭く、用水は用排水兼用の土水路のため湿田状態により大型機械の導入や低コスト営農展開への阻害要因となっている。また農業用排水施設の維持管理にも多大な労力を要している。

このような状況を解消し、効率的かつ安定的な営農を展開するため、本計画による区画の拡大、農道の拡幅、用排水路や暗渠排水の整備を行い併せて換地による担い手の農地利用集積を図り、集約化された農地で担い手が継続して生産性・収益性の高い農業の実現を図るものである。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

(第1表)

事 業 名	地 域
農地整備事業(経営体育成型)区画整理	〃 紫波郡紫波町星山・犬吠森地内

第2節 地 積

(R7年6月現在)

(R3年3月現在) (第2表)

事 業 名	現況地目	田	畑	原 野	山 林	その他	計	備 考
	市町村名	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農地整備事業 (経営体育成型) 区画整理	〃	115.9	0.0	〃	0.0	12.7	128.9	
	紫波郡紫波町	119.3	0.8	0.3	0.2	13.5	134.1	
合 計		115.9	0.0	〃	0.0	12.7	128.9	
		119.3	0.8	0.3	0.2	13.5	134.1	

上段:変更後
下段:変更前

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表－1)

観測所名	紫 波	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	H25年～R4年 H15 ～ H24年	〃 5 月 ～ 8 月	〃 9 月 ～ 4 月		
平 均 気 温		20.6 19.7 ℃	6.2 5.6 ℃	11.0 10.3 ℃	
降 水 量	平 均	614.5 528.9 mm	679.9 741.8 mm	1,294.40 1,270.60 mm	
	基 準 年	— mm	— mm	— mm	
降水日数	平 均	45 46 日	82 93 日	128 138 日	
	基 準 年	— 日	— 日	— 日	
根 雪 期 間		〃 — 月 — 日 ～ — 月 — 日		〃 — 日間	
無 霜 期 間		5月3日 ～ 10月18日 5月4日 ～ 10月17日		169 167 日間	
最 多 風 向		〃 S	最大風速	20.1 20.7 m/s	

[岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 令和6年3月版]

[岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 平成26年3月版]

上段: 変更後

下段: 変更前

2. 特殊気象

(岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 令和6年3月版)

(岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 平成26年3月版)

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
〃 紫波気象観測所																
観測期間	数量	年 月 日	発生確率	数量	年 月 日	発生確率	数量	年 月 日	発生確率	数量	年 月 日	発生確率	数量	年 月 日	発生確率	
最大日雨量(mm) M34年～R4年 M34年～H24年	〃 222	〃 S13 8/15	1/390 1/435	〃 220	〃 H19 9/17	1/366 1/409	211 210	H25 8/9 T9 8/9	1/275 1/297	210 135	T9 S15 9/4	1/266 1/22	135 133	S15 H14 7/11	〃 1/20	
最大時間雨量(mm) S31年～R4年 S31年～H24年	69.5 52	H27 6/16/16 H13 8/3/21	1/80 1/30	64.5 52	H25 8/9/11 8/10/16 8/10/16	1/56 1/30	52 51	H13 8/3/21 H6 9/30/11	1/22 1/27	52 49	S35 8/10/16 S60 9/7/19	1/22 1/23	51 46	H6 9/30/11 H19 9/10/6	1/20 1/17	
最大4時間雨量(mm) S31年～R4年 S31年～H24年	196 82	H25 8/9/13 H19 9/10/8	・・・ 1/42	164.5 81	H25 8/9/14 H19 9/10/9	・・・ 1/39	160 81	H25 8/9/12 H16 9/30/12	・・・ 1/39	111 78	H25 8/9/11 H19 9/10/7	1/110 1/29	98 77	H27 6/16/17 H16 9/22/4	1/48 1/26	
最大3日連続雨量(mm) M34年～R4年 M34年～H24年	〃 359	〃 T9 8/10	1/899 1/855	〃 340	〃 T9 8/9	1/605 1/	〃 265	〃 T9 8/11	1/114 1/113	〃 238	〃 S13 8/15	〃 1/60	〃 231	〃 M43 9/3	〃 1/51	
最大連続旱天日数(日) M34年～R4年 M34年～H24年	〃 55	〃 S18 6/19	・・・ 1/-	〃 40	〃 S21 7/16	1/613 1/424	〃 39	〃 S3 7/18	1/397 1/282	〃 37	〃 H11 7/18	1/175 1/131	〃 36	S53 6/29 S3 6/29	1/120 1/92	

3. 海 象 該当なし

(第3表-3)

観測所名		既往最高潮位	さく望平均満潮位	上下弦平均満潮位	平均潮位	上下弦平均干潮位	さく望平均干潮位	既往最低潮位	備考
観測期間	年 ～ 年	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	
実 測 値		()							

第2節 土地状況

上段: 変更後

下段: 変更前

1. 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目 傾斜区分	田						畑・その他								合計	受益地標高 (m)		備考
		1/1000	1/1000 ～	1/100 ～	1/20 ～	1/11.5 ～	計	3° 以下	3° ～	8°～15°			15° ～	20° 以上	計		最高	最低	
		以下	1/100	1/20	1/11.5	以上			8°	8°	8°	8°	15°	20°					
区画整理	面積		115.9				115.9	〃	0.0						0.0	115.9	〃	〃	
	(ha)		119.3				119.3	-	0.8						0.8	120.1	113	93	
	比率		100				100	〃	0						0	〃			
	(%)		99				99	-	1						1	100			
計	面積																		
	(ha)																		
	比率																		
	(%)																		
計	面積		115.9				115.9	〃	0.0						0.0	115.9			
	(ha)		119.3				119.3	-	0.8						0.8	120.1			
	比率		100				100	〃	0						0	〃			
	(%)		99				99	-	1						1	100			

上段:変更後

下段:変更前

(第4表-1-2)

[水田土壌]

土 壤 統 (区) 名	項 目	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表									面 積 (ha)			備考						
		土 壤 断 面									事 業 名									
		色	腐 植	礫 層	酸 化 沈 殿 物	土 性			泥炭層・黒泥層 及び グライ層	堆積 様式	母 材	(農 地 整 備 事 業) 営 業 区 画 整 理 成 果	計							
						表土	下層土													
一層	二層					三層														
灰褐色土壌 強粘土構造型	〃 灰褐	〃 表層腐植層	〃 なし	〃 斑紋あり	〃 強粘質	〃 同左	〃 同左	〃 なし	〃 洪積 世 堆積 残 積 崩積	〃 非固結堆積岩	71.4	71.4	〃 G60							
	〃 灰褐	〃 なし		〃 Mn結核なし	〃 強粘質	〃 同左	〃 同左	〃 なし		〃 固結火成岩	72.5			72.5						
	〃 灰褐	〃 なし		〃 Mn結核なし	〃 強粘質	〃 同左	〃 同左	〃 あり		〃 固結堆積岩										
灰褐色土壌 粘土質構造マンガン型	〃 灰褐	〃 表層腐植層	〃 なし	〃 斑紋あり	〃 強粘質	〃 同左	〃 同左	〃 なし	〃 水積	〃 非固結堆積岩	19.6	19.6	〃 G61							
	〃 灰褐	〃 なし		〃 Mn結核あり	〃 強粘質	〃 同左	〃 同左	〃 なし			〃 非固結堆積岩			20.4	20.4					
	〃 灰褐	〃 なし		〃 Mn結核あり	〃 強粘質	〃 同左	〃 同左	〃 あり			〃 非固結堆積岩									
黒色土壌 粘土腐植型	〃 黒	〃 全層腐植層	〃 なし	〃 あり	〃 強粘質	〃 同左	〃 粘質	〃 なし	〃 水積	〃 非固結堆積岩	12.0	12.0	〃 H72							
	〃 黒							〃 なし			〃 あり			〃 強粘質	〃 同左	〃 粘質	〃 なし	〃 非固結堆積岩	12.2	12.2
	〃 黒							〃 なし			〃 あり			〃 強粘質	〃 同左	〃 粘質	〃 なし	〃 非固結堆積岩		
黄褐色土壌 壤土マンガン型	〃 黄褐	〃 表層腐植層	〃 なし	〃 斑紋あり	〃 壤質	〃 同左	〃 同左	〃 なし	〃 水積	〃 非固結堆積岩	12.9	12.9	〃 I83							
	〃 黄褐	〃 なし		〃 Mn結核あり	〃 壤質	〃 同左	〃 同左	〃 なし			〃 非固結堆積岩			14.2	14.2					
	〃 黄褐	〃 なし		〃 Mn結核あり	〃 壤質	〃 同左	〃 同左	〃 あり			〃 非固結堆積岩									
計											115.9 119.3		115.9 119.3	(上平沢統)						

上段:変更後

下段:変更前

2. 土地分類

//
該当なし

(第4表-2-1)

級地別 市町村名	農 用 地 造 成										計	備 考
	一級地	二 級 地				三 級 地				四級地		
		※ (ha)	3° ~8° (ha)	8° ~12° (ha)	12° ~15° (ha)	※ (ha)	15° ~20° (ha)	20° ~25° (ha)	25° ~30° (ha)	30° 以上 (ha)		
												※は傾斜以外の 要因によるもの
計												

3. 土地利用の状況

上段: 変更後
下段: 変更前
(R7年6月現在)
(R3年1月現在) (第4表-3)

事業名	市町村名	土地利用名	耕 地							山 林		採 草 牧草地	原 野	その他	計	備 考	
			水田		普通畑	牧草地	果樹園	桑 園	茶 園	その他の 樹 園地	用材林						薪炭林
			一毛作 田 (ha)	二毛作 田以上 (ha)													
農地整備事業（経営体育成型） 区画整理	〃	115.9		0.0						0.0	〃		〃	12.7	128.9		
	紫波町	119.3		0.8						0.2	-		0.3	13.5	134.1		
	計	115.9 119.3		0.0 0.8						0.0 0.2	〃 -		〃 0.3	12.7 13.5	128.9 134.1		
合 計		115.9 119.3		0.0 0.8						0.0 0.2	〃 -		〃 0.3	12.7 13.5	128.9 134.1		

上段: 変更後
下段: 変更前
(第4表-4)

4. 土地所有の状況

事業名	所有別 区分	個人有地	個人共有	法人有地	町 有	県 有	国 有	計	備 考
農地整備事業 (経営体育成型) 区画整理	面 積 (ha)	116.7 120.9	左の内 〃 (1.3)		12.2 13.2			128.9 134.1	
	関係戸数 (戸)	33 97	左の内 (3) (2)					33 97	
	筆 数 (筆)	896 906	左の内 (10) (8)		314 307			1,210 1,213	
	権 利 関 係								
	備 考 (受 益 者)	33 97						33 97	
	面 積 (ha)								
	関係戸数 (戸)								
	筆 数 (筆)								
	権 利 関 係								
	備 考 (受 益 者)								
合 計	面 積 (ha)	116.7 120.9	左の内 〃 (1.3)		12.2 13.2			128.9 134.1	
	関係戸数 (戸)	33 97	左の内 (3) (2)					33 97	
	筆 数 (筆)	896 906	左の内 (10) (8)		314 307			1,210 1,213	
	権 利 関 係								
	備 考 (受 益 者)	33 97						33 97	

第3節 水利状況

1. 用水状況

//

本地区の水源は、一級河川北上川その他、溪流水である。北上川からは水利権取得による揚水機取水である。その他準用河川間木沢川及び溪流水は水利権および慣行水利権はない。

地区内ほ場への用水網は、揚水機場～支線用水路～小用水路または、ため池～小用水路により組織されているが、構造は土水路が大半である。営農上の維持管理の必要から、これまで土地改良区による局所的な装工・修繕が行われているものの、流下断面が一定でなく、法面の侵食等による通水障害も度々生じており、用水管理及び施設の維持管理等に多大な経費を費やしている。

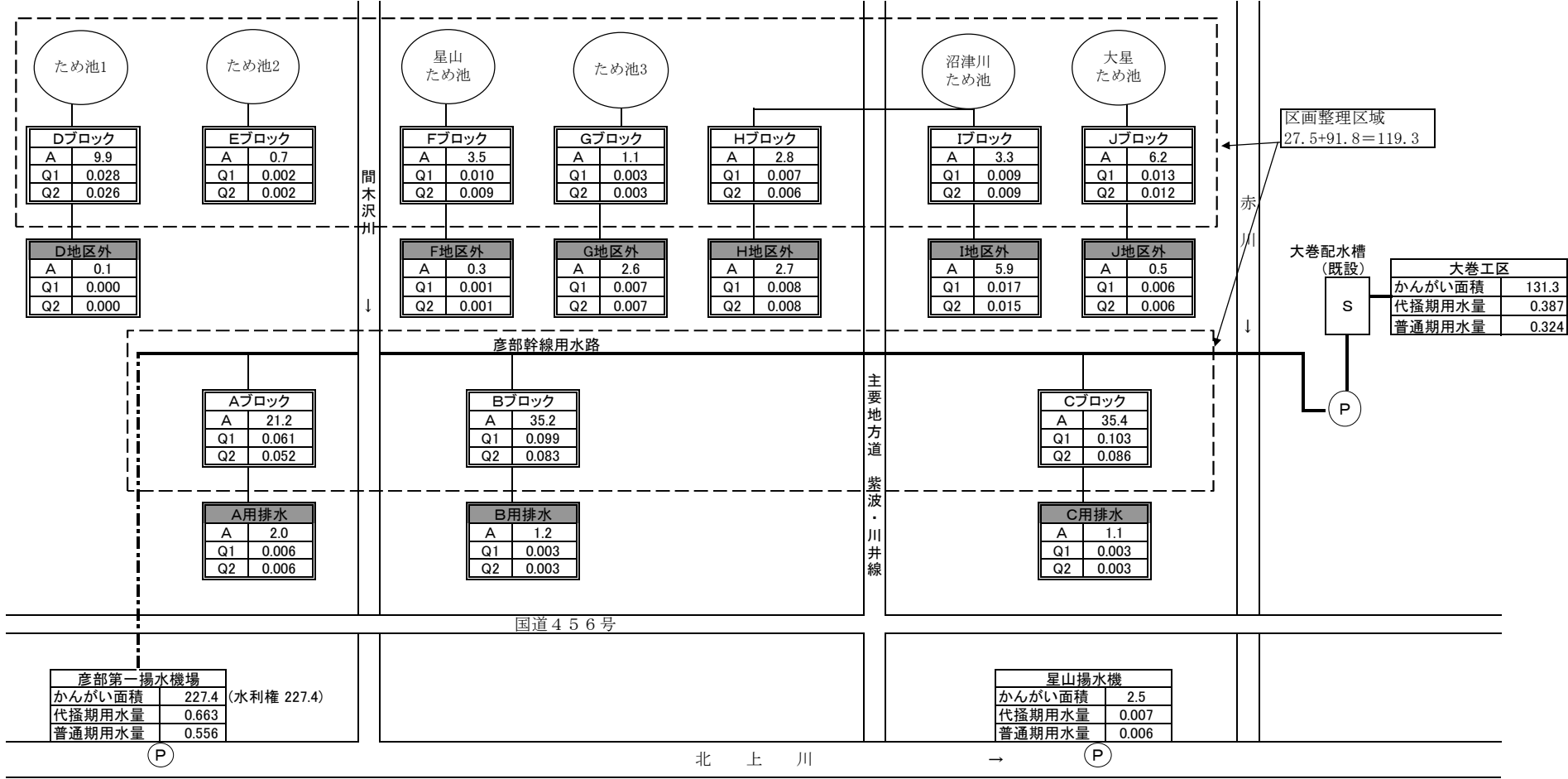
(1) 用水系統

//

別紙現況用水系統図のとおり

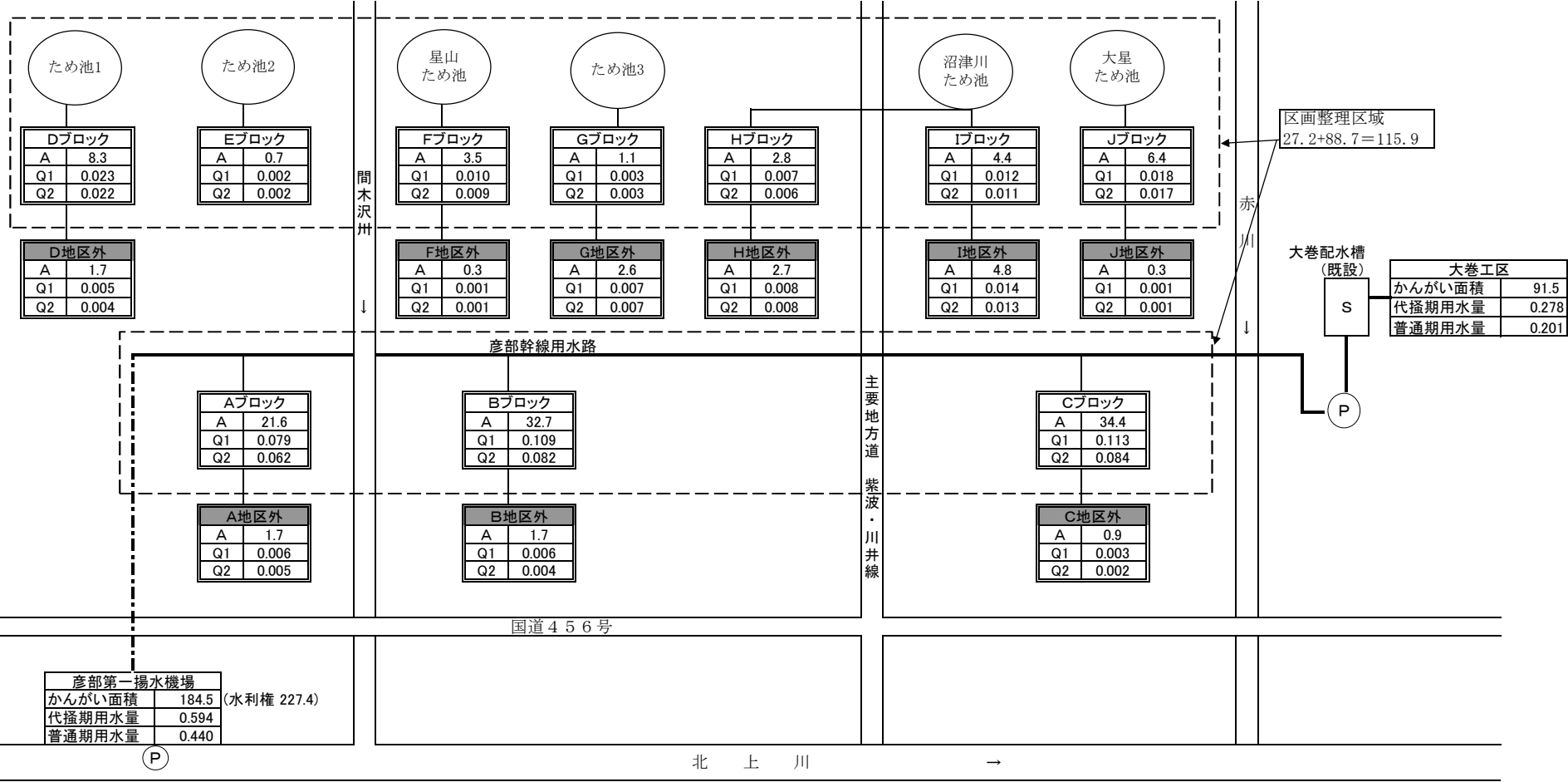
現況用水系統図

変更前



現況用水系統図

変更後



(2) 用水施設

上段:変更後

下段:変更前

(イ) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延取水量	備 考
		500ha以上		500～100ha		100ha以下									
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m³/s	箇所	m³/s	m³/s	
農地整備事業（経営体育成型） 区画整理	井 堰														
	自然取水口														
	貯 水 池			〃 6	27.2 25.5			〃 6	27.2 25.5		〃 0.111			〃 0.111	
	揚 水 機 （ 水 ※ ）			〃 1	88.7 93.8			〃 1	88.7 93.8		0.594 0.663			0.594 0.663	
	そ の 他														
	計														
合 計				〃 7	115.9 119.3			〃 7	115.9 119.3		0.705 0.774			0.705 0.774	

※一体整備する農業用排水施設整備事業により、整備する揚水機場によりかんがいされている。

(ロ) 改修を要する施設一覧表
 //
 該当なし

上段:変更後
 下段:変更前
 (第5表-2)

事業名	項目 施設名	箇所数 (箇所)	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設又は更新年月日	改修を必要とする理由	備 考
	井 堰							
	自然取水口							
	貯 水 池							
	揚 水 機							
	そ の 他							
	計							
合 計								

該当なし

上段: 変更後
下段: 変更前

該当なし

(第5表-3-1)

[illegible]

(イ) その他の被害状況
//
該当なし

上段: 変更後
下段: 変更前

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

//
該当なし

上段:変更後

下段:変更前

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (千円)						人命 (人)	備考
	水田	畑	その他	計	作物	農地	農業用 施設	公共 施設	家屋・ その他	計		
	計											
	計											
	計											
	計											
合 計												

上段: 変更後
下段: 変更前

2. 排水状況

//

地区西側を縦断する形で北から南方向へ一級河川北上川が流れ、また、地区を横断する形で東から西方向に支流の間木沢川及び赤川が北上川に流下している。地区内の排水は小排水路からこれら支流に流入し北上川へ流出している。

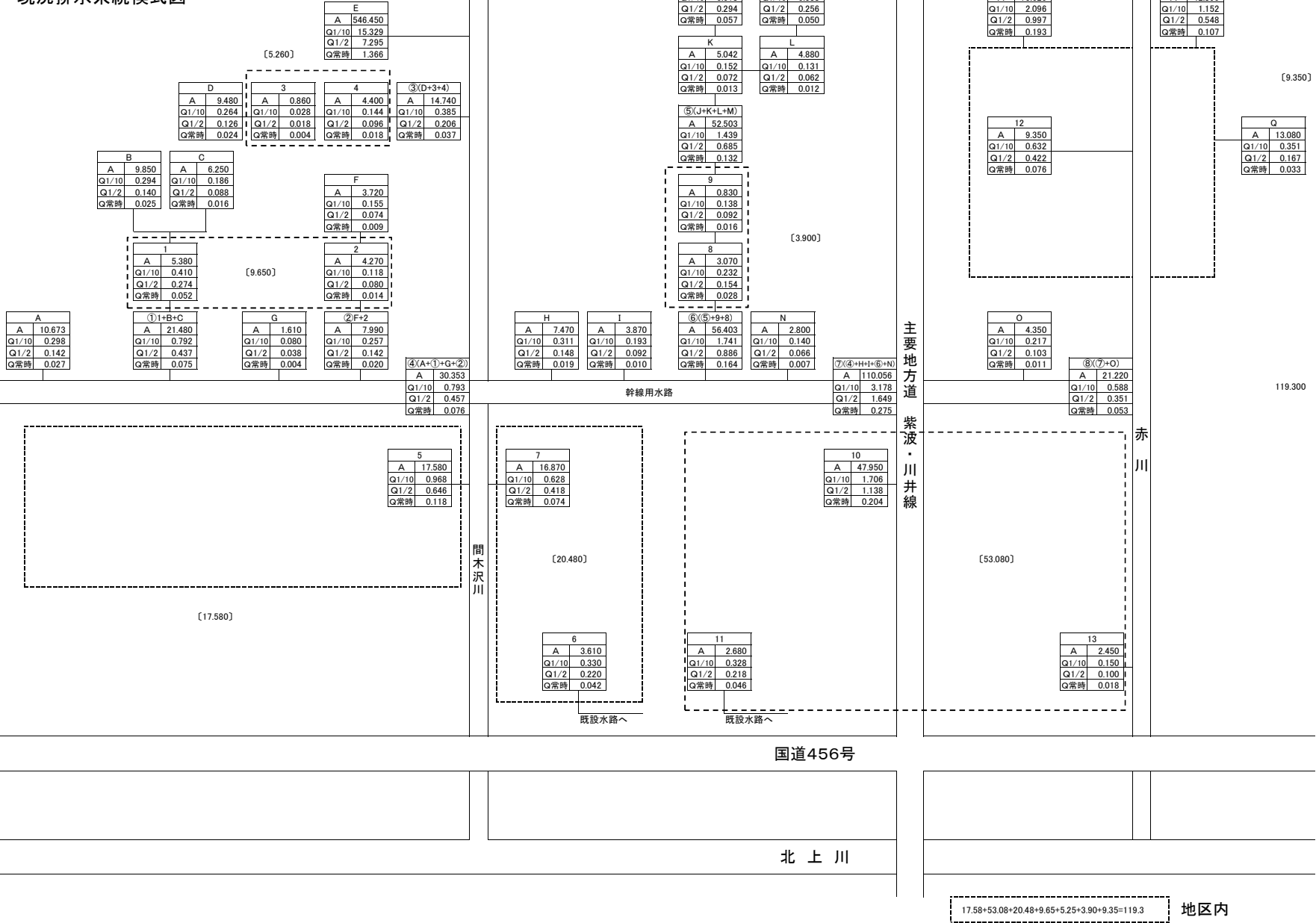
本地区の排水系統は、排水路と用水路が兼用水路となっているため、用水系統と同一の系統となっている。また、地区が河岸沿いの平地部に位置しており、地形勾配が緩やかで且つ水路底が浅い土水路方式のため排水能力が不足している。

(1 排水系統

//

別紙現況排水系統図のとおり。

現況排水系統模式圖



現況排水系統模式図



(2) 排水施設

(イ) 排水方法一覧表

上段: 変更後

下段: 変更前

(第5表-4)

事業名	項 目		排水面積						計		排水慣行	現況排水能力 (m ³ /s)	備 考
			500ha以上		500～100ha		100ha以下						
	施設名		個所	ha	個所	ha	個所	ha	個所	ha			
(農地整備事業 経営地区画整理)	自然	排水路	〃 141	978.2 977.6					〃 141	978.2 977.6		37.515 1.706	
		その他											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
	計		〃 141	978.2 977.6					〃 141	978.2 977.6		37.515 1.706	
合 計			〃 141	978.2 977.6				〃 141	978.2 977.6		37.515 1.706		

(ロ) 改修を要する施設の一覧表

(第5表-5)

事業名	項 目		個所数	構 造	規 模	新設又は 更新年月日	改修を必要 とする理由	備 考
	施設名							
（経農 区営地 画体整 育備 理成事 業型）	自然	排 水 路	〃 100	〃 土水路	〃 L=12,496 m	〃 H26年度以降	〃 ほ場整備に伴う改修	
		水 門						
	機械	排水機						
		水門及び排水機						
	計		〃 100		〃 L=12,496 m			
合 計			〃 100		〃 L=12,496 m			

上段:変更後

下段:変更前

(3) 排水に関する被害状況

//
該当なし

(第5表-6)

事業名	項目 施設名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		たん 水 状 況				乾 湿 状 況						平 均 減産量 (t)	平 均 維 持 管理費 (千円)	備 考
					たん水深 (cm)	たん水 時 間 (hr)	たん水 面 積 (ha)	たん水量 (千m ³)	田		畑		その他				
									乾	湿	乾	湿	乾	湿			
			平均														
			基準年														
			平均														
			基準年														
	計		平均														
			基準年														
合 計			平均														
			基準年														

上段: 変更後
下段: 変更前

3. 河川状況

(1) 河川の現況

//
該当なし

(第5表－7)

項 目 河川名	流路状況	勾 配	断 面	安全洪水量 (m ³ /S)	既往最大洪水量 (m ³ /S)	備 考

(2) 洪水に関する被害状況

//
該当なし

(第5－8)

項 目 河川名	農 用 地 (千円)	農 用 施 設 (千円)	作 物 (千円)	公 共 施 設 (千円)	備 考
各最大被害額					
平均被害額					

第4節 道路概況

上段:変更後
下段:変更前

1. 道路現況

本計画地区は、地区西側を南北に国道456号が縦断し、地区中央を県道紫波江繋線が東西に横断している。また地区北東側を南北に一級町道星山北田線、地区南東側を南北に二級町道星山大巻線が縦断し、それぞれ県道紫波江繋線に接続しており、本地区の幹線道路機能を果たしている。しかし、ほ場内においては、道路幅員が2～3mと狭く、大型機械化農業経営に支障をきたしている現状である。

2. 主要道路一覧表

(第6表)

No.	路 線 名	管理区分別	延 長 (m)	幅 員(m)		構 造	改修の要否	備 考
				全 幅	有 効			
1	町 道 星 山 北 田 線	〃	2,504	7.0	6.1	アスファルト舗装	否	
2	町 道 星 山 線	〃	1,104	10.0	5.1	〃	〃	
3	町 道 星 山 大 巻 線	〃	2,638	14.3	5.5	〃	〃	
4	町 道 沼 口 線	〃	1,537	9.9	3.0	〃	〃	
5	町 道 間 野 村 線	〃	779	11.5	5.0	〃	〃	
6	町 道 上 谷 地 沼 口 線	〃	283	3.8	2.2	砂利舗装	要	
7	町 道 間 木 沢 1 号 線	〃	281	8.0	4.0	アスファルト舗装	否	
8	町 道 樋ノ口上谷地線	〃	612	4.5	3.0	砂利舗装	要	
9	町 道 松 原 間 木 沢 線	〃	2,657	5.5	2.3	〃	〃	
10	町 道 高 屋 敷 線	〃	642	6.0	2.2	アスファルト舗装	否	
11	町 道 柏 森 線	〃	343	4.0	2.3	砂利舗装	要	
12	町 道 間 木 沢 2 号 線	〃	264	4.2	1.8	〃	〃	
13	町 道 境 1 号 線	〃	269	7.5	2.4	アスファルト舗装	否	
14	町 道 高 屋 敷 樋ノ口1号線	〃	711	2.4	2.2	砂利舗装	要	
15	町 道 内 田 線	〃	154	3.2	2.1	〃	〃	
16	町 道 境 2 号 線	〃	323	4.0	2.2	〃	〃	
17	町 道 高 屋 敷 樋ノ口2号線	〃	589	2.6	2.2	〃	〃	
18	町 道 間 木 沢 6 号 線	〃	222	6.0	6.0	アスファルト舗装	否	
19	町 道 樋ノ口間野村線	〃	208	2.5	2.3	砂利舗装	要	
20	町 道 間 野 村 1 号 線	〃	165	2.6	2.3	〃	〃	
21	町 道 柏 森 杉 田 線	〃	934	4.8	2.3	〃	〃	
22	町 道 杉 田 津 花 線	〃	606	4.2	3.0	〃	〃	
23	町 道 津 花 杉 田 線	〃	661	4.5	3.3	〃	〃	
24	町 道 間 野 村 金 矢 線	〃	607	4.9	2.7	〃	〃	
25	町 道 中 田 八 幡 田 線	〃	593	2.1	2.0	〃	〃	

第5節 地域農業の概況

上段: 変更後
下段: 変更前

1. 産業別就業人口

岩手県統計年鑑(令和2年度版)
岩手県統計年鑑(平成27年度版)

(R 7 年 6 月現在)
(H 28 年 3 月現在)

(第7表-1)

項目 市町村名	総 数 (人)	農 業 (人)	林 業 (人)	漁 業 (人)	鉱 業 (人)	建設 業 (人)	製造 業 (人)	電気 給水 ガス 熱 業 (人)	運輸 通信 業 (人)	飲卸 売食 小売 業 (人)	金融 保険 業 (人)	サー ビス 業 (人)	公 務 業 (人)	そ の 他 (人)	備 考
紫波町	17,028 17,891	1,947 2,499	32 21	〃 3	7 12	1,369 1,397	1,845 2,030	82 97	1,313 1,211	2,836 2,879	260 317	1,486 1,591	605 634	5,243 5,200	
計	17,028 17,891	1,947 2,499	32 21	〃 3	7 12	1,369 1,397	1,845 2,030	82 97	1,313 1,211	2,836 2,879	260 317	1,486 1,591	605 634	5,243 5,200	
比率(%)	〃 100%	11% 14%	〃 0%	〃 0%	〃 0%	〃 8%	〃 11%	0% 1%	8% 7%	17% 16%	〃 2%	〃 9%	〃 4%	30% 29%	

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

2020農林業センサス 岩手県統計書

(R 7 年 6 月現在)

上段:変更後

2015農林業センサス 岩手県統計書

(H 28 年 3 月現在)

下段:変更前

(第7表-2)

区分 市町村名	農 家 数 戸 数 (戸)	経営耕地広狭別農家数 (戸)											1戸当平均農用地面積 (ha)						耕地の分散 状 況		専業別農家数 (戸)			備 考
		0.3 ha 未満	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 以上			を 例 外 規 定 の 適 用	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	団 一 戸 地 当 数 り	団 地 等 面 積	専 業	兼 業 第 1 種	業 第 2 種	
〃 紫波町	1,661 1,427	— 103	— 136	— 320	— 247	— 160	— 204	— 130	— 127	〃 —	〃 —		2.6 2.73	0.1 0.23	0.2 1.25	2.9 4.21	0.0 0.63	2.9 4.84	〃 —	〃 —	— 321	— 255	— 748	
計	1,661 1,427	— 103	— 136	— 320	— 247	— 160	— 204	— 130	— 127	〃 —	〃 —	〃 0	2.6 2.73	0.1 0.23	0.2 1.25	2.9 4.21	0.0 0.63	2.9 4.84	〃 —	〃 —	— 321	— 255	— 748	
比率 %	— 100%	— 7%	— 10%	— 22%	— 17%	— 11%	— 14%	— 9%	— 9%	〃 —	〃 —	〃 0%	90% 56%	3% 5%	7% 26%	100% 87%	0% 13%	〃 100%	〃 —	〃 —	— 24%	— 19%	— 56%	

上段:変更後

下段:変更前

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

2020農林業センサス

(R7年6月現在)

2015農林業センサス

(H28年3月現在)

(第7表-3)

項 目 市町村名	動 力 農 機 具								主 要 家 畜						備 考
	耕運機及び トラクター		動力防除機		動力田植機		コンバイン		乳用牛		肉用牛		豚		
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	
〃 紫波町	— 1,395	— 1,059	〃 —	〃 —	— 747	— 706	— 547	— 478	— 0	3 0	— 2,545	109 134	3,680 3,898	6 7	
計	— 1,395	— 1,059	〃 —	〃 —	— 747	— 706	— 547	— 478	〃 0	3 0	— 2,545	109 134	3,680 3,898	6 7	
100戸当数量 (台・頭)	— 98		〃 —		— 52		— 38		〃 0		— 178		222 273		
利用戸数割合 (%)		— 74		〃 —		— 50		— 34		〃 0		7 9		0 1	

上段:変更後

下段:変更前

4. 主要作物作付状況

(R7年6月現在)
(H28年3月現在)

(第7表-4)

市 町 村 名			〃 紫波町				計	平 均	作付率	備 考
総耕地面積 (ha)			5,600 5,620				5,600 5,620			
区 分			作付面積 (ha)	単位面積当 収 量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当 収 量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当 収 量 (kg/10a)	(%)	
作物名										
田	表 作	水 稻	2,660 2,540	569 579			2,660 2,540	569 579	66 64	作物統計調査市町村別データ 令和2年度版 岩手県農作物統計 平成27年版
		麦類 (小麦)	781 890	240 163			781 890	240 163	19 23	作物統計調査市町村別データ 令和2年度版 岩手県農作物統計 平成27年版
		豆類 (大豆)	〃 45	163 160			〃 45	163 160	〃 1	作物統計調査市町村別データ 令和2年度版 岩手県農作物統計 平成27年版
	小 計		3,486 3,475				3,486 3,475		86 88	
普通畑	春夏作	葉菜類 ねぎ	× 5	1,640 2,200			× 5	1,640 2,200	—	2020センサス、作物統計調査市町村別データ 令和2年度版 紫波農業振興地域整備計画書 平成24年度版
		その他野菜類 (きゅうり)	16 27	5,690 6,111			16 27	5,690 6,111	〃 1	2020センサス、作物統計調査市町村別データ 令和2年度版 紫波農業振興地域整備計画書 平成24年度版
	秋冬作	雑穀類 (そば)	363 254	75 73			363 254	75 73	9 6	作物統計調査市町村別データ 令和2年度版 紫波農業振興地域整備計画書 平成24年度版
	小 計		379 286				379 286		10 7	
樹園地	果樹(りんご)		145 196	2,050 394			145 196	2,050 394	4 5	2020センサス、作物統計調査市町村別データ 令和2年度版 紫波農業振興地域整備計画書 平成24年度版
	そ の 他									
	小 計		145 196				145 196		4 5	
計			4,010 3,957				4,010 3,957		〃 100	
市町村別延作付率(%)			71.6% 75.2%							総本地面積 5,421ha 5,255ha

×:2020センサスで非公表

5. 農業の動向

上段: 変更後
下段: 変更前
(R7年6月現在)
(H28年3月現在)
(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動力農機具			そ の 他	地 域 指 定 等	備 考
		B	A (現在)		B	A (現在)	作物名	B	A (現在)	家畜名	B	A (現在)	農機具名	B	A (現在)			
(Cを 100と 変 化 す る 状 況 指 数)	総農家数	92 55	81 64	耕 地	99 112	90 112	水 稻	98 110	102 108	乳用牛	9 550	27 0	耕うん機及 びトラクター	92 63	- 52		農振 〃 S45 振興山村 〃 S45 特定農山村 〃 H5 経営基盤 〃 H17	農林業センサス A:令和2年 (2020) A:平成27年 (2015) 〃 B:平成27年 (2015) B:平成22年 (2010) 〃 C:平成22年 (2010) 〃 C:平成17年 (2005)
	専 業 農家数	106 95	- 101	田	97 113	92 111	果 樹	28 191	- 169	肉用牛	80 63	65 51	自脱型 コンバイン	91 53	- 49			
	第1種兼業 農家数	86 52	- 45	畑	85 91	75 77	飼料作物	25 80	- 20	豚	58 70	50 41	動力田植機	87 56	- 49			
	第2種兼業 農家数	83 51	- 42	樹園地	141 116	85 163	野 菜	94 84	5 74				動力防除機	- 0	- 0			
	農 業 従事者数	81 58	68 34	草 地	53 143	53 76	豆 類	129 133	100 172									
変 化 の 理 由	〃 農地集積により担い手と 経営体の割合が増加する 傾向が見られる一方、兼業 農家は減少している。			農地転用が進み農用 地の減少が進んでいる。 農地転用が進み農用 地の減少が進んでいる。 法人による果樹の生産が 伸びている。			転作による豆類の作付 が増えている。 転作による豆類の作付 増および、法人による果 樹の生産、加工、販売が 伸びている。			〃 全体では畜産農家数 は減少傾向にある。			〃 水稻の作付面積が減少して いるため、また農地集積や作 業受委託により、農機具が減 少傾向にある。					

第6節 地域環境の概況

〃

本地区は、紫波町中心部より東約2kmに位置し、北上川左岸に拓けた水田農業地帯である。地区内は田園的な景観を呈しており、土壌は主に灰色低地土、黒泥土、黄褐色土が分布している。気候は内陸型の盆地気候で冬季は比較的温暖で積雪量はあまり多くない。
周辺の森林は、スギ、アカマツ、カラマツ等の針葉樹やコナラ、ミズナラなどの広葉樹からなる。本地区周辺地域では希少植物としてエゾノミズタデの生育が確認されている。そのほかにカタクリ、フキノトウ、ヨモギ、タンポポ、スマレ等が全域に生息している。周辺の河川、ため池、水路にはコイ、フナ、ドジョウ等が生息している。昆虫類ではトンボやセミなど多くの昆虫類を見ることができる。

上段: 変更後
下段: 変更前

第4章 一 般 計 画

第1節 事業計画の要旨

1. 要 旨

〃

区画形質の改善、用排水路と農道の整備、暗渠排水による水田の汎用化、換地による農地の集団化、非農用地創設による土地利用調整を総合的に実施し、大区画ほ場の実現による土地利用型農業の規模拡大によって、営農の効率化と農業生産性の向上を図る。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地 利用区分 事業目的	区画整理														計 ha	備考
	田 ha	輪 換 耕 地 ha	普 通 畑 ha	牧 草 畑 ha	果 樹 園 ha	そ の 他 ha	小 計 ha	田 ha	輪 換 耕 地 ha	普 通 畑 ha	牧 草 畑 ha	果 樹 園 ha	そ の 他 ha	小 計 ha		
農地整備事業 (経営体育成型) 区画整理	105.6	〃	1.1	〃	〃	22.2	128.9								128.9	
	114.2	-	1.9	-	-	18.0	134.1								134.1	
計	105.6	〃	1.1	〃	〃	22.2	128.9								128.9	
	114.2	-	1.9	-	-	18.0	134.1								134.1	

第2節 営農計画及び土地利用計画

上段:変更後
下段:変更前

1. 営農計画の概要

〃

本地区では、集落営農組織が中心となり、集積を行うことにより、効率的・安定的な水田農業経営に取り組んでいる。今後の農業機械の効率的な利用を検討した結果、水田は水稻を中心として作付するほか、新たに大豆栽培を導入する計画としている。

2. 土地利用区分

(第9表－1)

事業名	土地利用区分	田	輪換 耕地	普通畑	牧草畑	果樹園	桑園		小 計	原野	山林	その他	計	備考
	区分	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農地整備事業 (経営体育成型) 区画整理	現 況	115.9 119.3		0.0 0.8					115.9 120.1	〃 0.3	0.0 0.2	12.7 13.5	128.9 134.1	
	計 画	105.6 114.2		1.1 1.9					106.7 116.1			22.2 18.0	128.9 134.1	
	現 況													
	計 画													
	現 況													
	計 画													
	現 況													
	計 画													
計	現 況	115.9 119.3		0.0 0.8					115.9 120.1	〃 0.3	0.0 0.2	12.7 13.5	128.9 134.1	
	計 画	105.6 114.2		1.1 1.9					106.7 116.1			22.2 18.0	128.9 134.1	

3. 作付方法

上段:変更後

下段:変更前

(第9表-2)

事業名	項目	経営 類型	区分 地目	1 年 目												2 年 目												3 年 目														
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
農地整備事業（経営体育成型） 区画整理	現況	水稻+ 野菜	田 畑				" 水稻												" 水稻																							
							" 小麦													" 小麦																						
	計画	水稻+ 野菜	田 畑				" 水稻														" 水稻																					
							" 小麦														" 小麦																					
							" 大豆															" 大豆																				
							" WCS															" WCS																				
							" そば																" そば																			
							" 大豆																" 大豆																			
							" WCS																" WCS																			
							" そば																" そば																			
現況																																										
計画																																										

上段:変更後

下段:変更前

(第9表-3)

4. 生産計画

※面積は、本地面積である。

事業名	項目		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当収穫量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考
	地名			現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当 収量増加	
農地整備事業（経営体育成型）区画整理	田	表作	水稻	71.7 71.8	38.3 40.5	△ 33.4 △ 31.3	63.9 63.5	37.4 37.2	564.0 570	607.5 604	43.5 34.0	404.4 409	232.7 245	△ 171.7 △ 164.6	△ 188.4 △ 178.4	16.7 13.8	
		表作	小麦	〃 12.5	27.1 28.6	14.6 16.1	〃 11.1	26.4 26.3	248.0 177	422.0 306	174.0 129.0	31.0 22	114.3 88	83.3 65.4	61.6 28.5	21.7 36.9	
		表作	大豆	〃 -	13.5 14.3	13.5 14.3	- 0	13.2 13.1	143.0 159	232.0 262	89.0 103.0	- 0	31.3 37	31.3 37.4	31.3 22.7	0.0 14.7	
		表作	WCS	〃 -	9.0 9.4	9.0 9.4	- 0	8.7 8.6	2400.0 2576	2586.0 2731	186.0 155.0	- 0	232.7 257	232.7 256.7	232.7 242.1	0.0 14.6	
		表作	そば	〃 -	13.5 14.3	13.5 14.3	- 0	13.2 13.1	67.0 54	67.0 59	0.0 5.0	- 0	9.0 8	9.0 8.4	9.0 7.7	0.0 0.7	
		表作	調整水田	28.0 28.1		△ 28.0 △ 28.1	25.0 24.8	〃 -									
	小 計			112.2 112.4	101.4 107.1	△ 10.8 △ 5.3	100.0 74.6	98.9 98.3									
	普通畑	表作	大豆	- 0.7	1.1 1.7	1.1 1.0	- 0.6	1.1 1.6	143	143	-	-	1.6	1.6	1.6	0.0	
	小 計			- 0.7	1.1 1.7	1.1 1.0	- 0.6	1.1 1.6									
合 計			112.2 113.1	102.5 108.8	△ 9.7 △ 4.3	100.0 75.2	100.0 99.9										

上段:変更後

下段:変更前

(第9-4)

5. 労働改善計画

事業名	項目 地目名	作物名	作付面積 (ha)	単位面積等労働投下量 (hr/10a)				備 考	
				区 分	現 況	計 画	増 減		
区画整理	田	大区画乾田 NO.4 水 稻	12.2	人 力	// 23	5 7	△ 18 △ 16		
			19.5	機 械 力	// 31	5 8	△ 26 △ 23		
		中区画乾田 NO.1 水 稻	26.1	人 力	// 23	8 12	△ 15 △ 11		
			17.9	機 械 力	// 31	8 9	△ 23 △ 22		
		大区画乾田 NO.18 小 麦	27.1	人 力	4 -	3 -	△ 1 -		
			-	機 械 力	12 -	10 -	△ 2 -		
		大区画乾田 NO.22 大 豆	13.5	人 力	5 -	4 -	△ 1 -		
			-	機 械 力	12 -	10 -	△ 2 -		
		大区画乾田 NO.11 WCS用稲	9.0	人 力	21 -	4 -	△ 17 -		
			-	機 械 力	28 -	5 -	△ 23 -		
		大区画乾田 そば	13.5	人 力	2 -	2 -	0 -		
			-	機 械 力	6 -	5 -	△ 1 -		
	計		101.4 37.4						
合 計			101.4 37.4						

6. 級地別土地利用区分

上段:変更後

下段:変更前

(第9表-5)

区分 土地利用区分		農用地造成 (ha)					干拓 (ha)					合計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
	田											
	輪換耕地											
	畑											
	(普通畑)											
	(牧草畑)											
	樹園地											
	(果樹園)											
	(桑園)											
その他												
計												

7. 土地配分計画

(第9表-6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地 目 別 配 分 計 画 (ha)								備 考
		田	輪換耕地	畑					計	
				普通畑	牧草地	樹園地				
増反入植	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	()	()	()	()	()	()	()	()	()	

第3節 用水計画

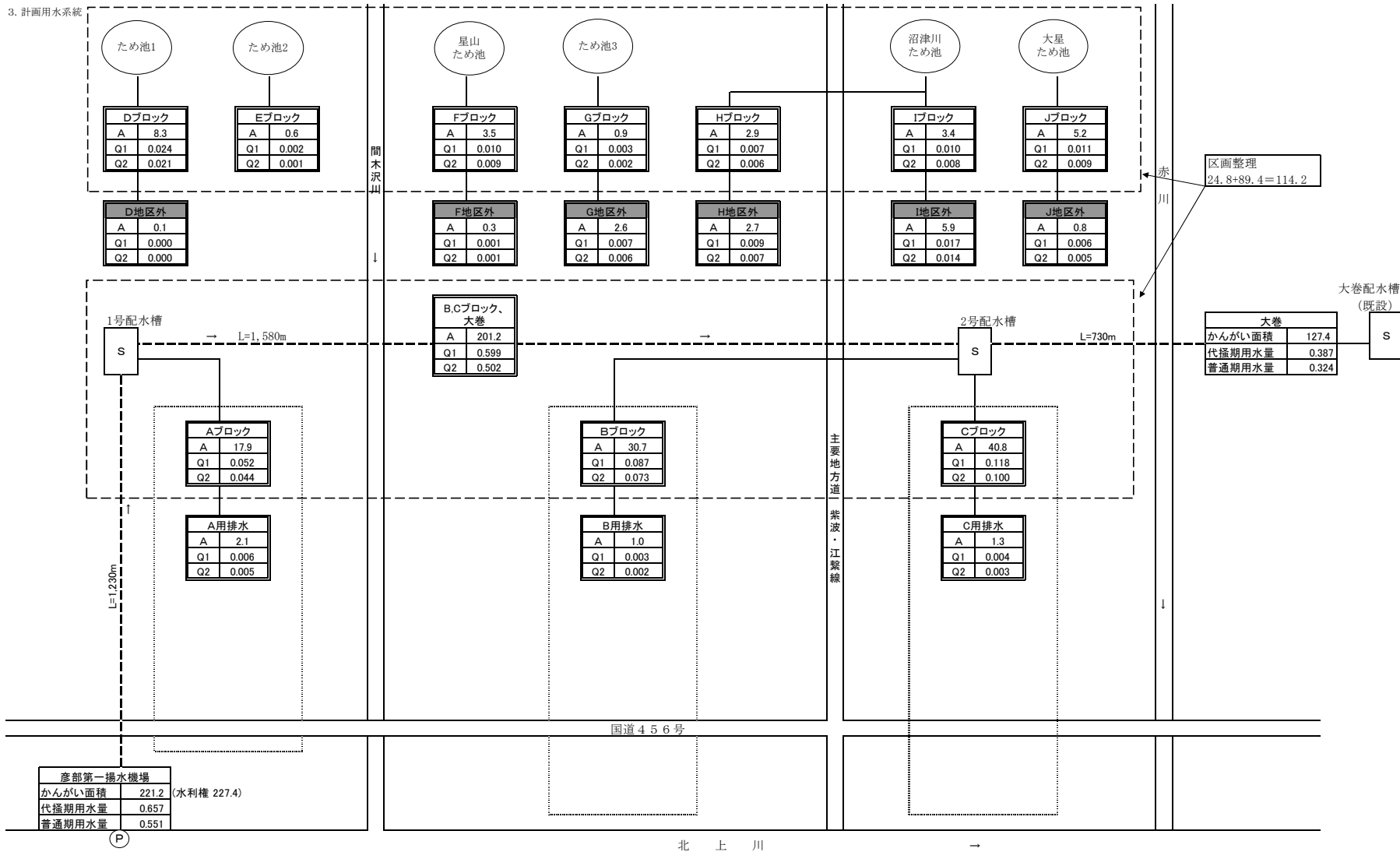
1. 計画基準年

かんがい期有効雨量、かんがい期総干天日数、かんがい期連続干天日数とも1/10確率年に近い年を基準年とすることから、
平成6年を基準年とする。
昭和57年を基準年とする。

2. 計画かんがい方式

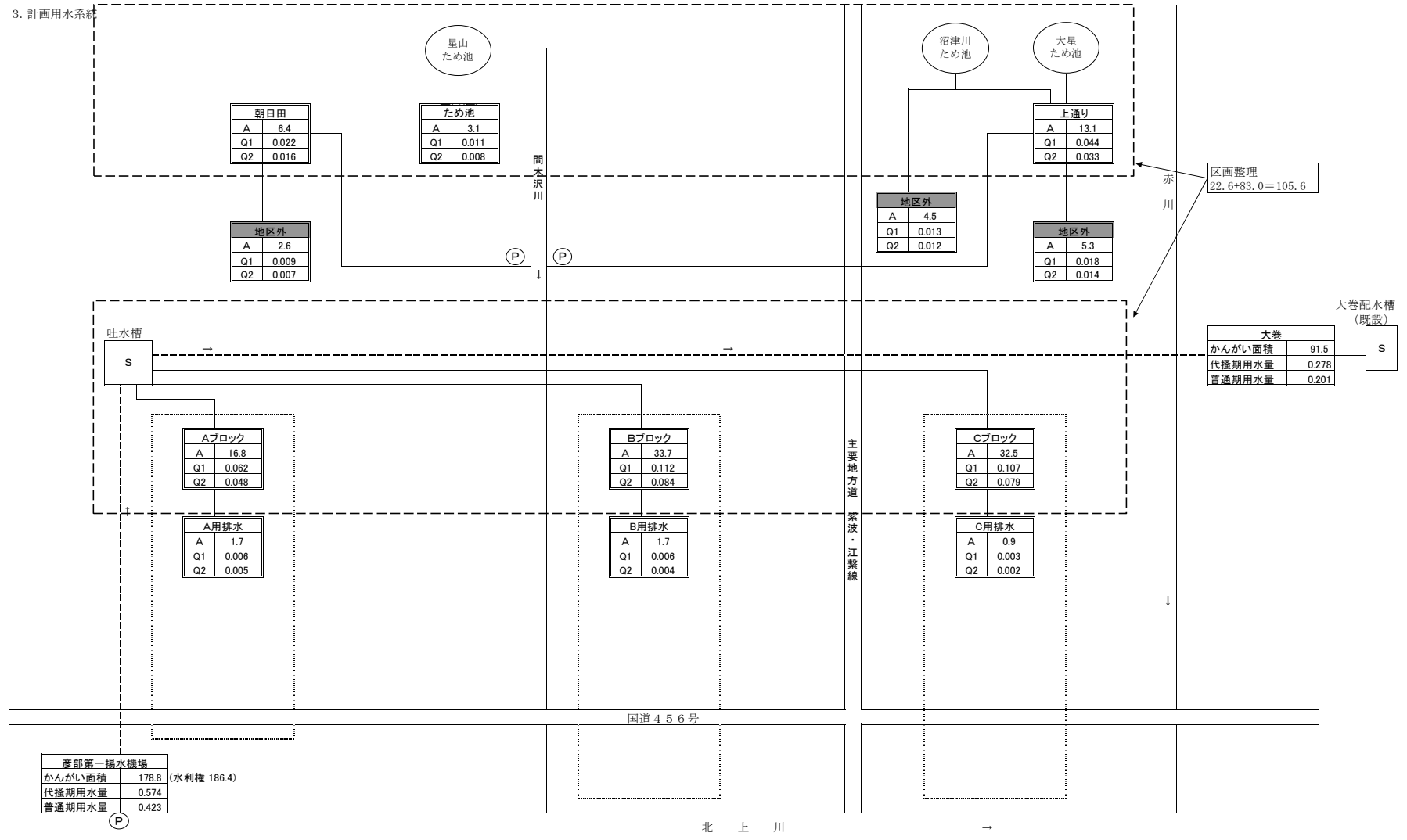
水稻		管水路
畑作物		該当なし

3. 計畫用水系統



変更後

3. 計画用水系統



上段:変更後
下段:変更前

4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名	種 別	面 積 (ha)				水田かんがい			畑地かんがい			田畑輪換						消費 水量 m³/s	損 失 量 %	粗用水量		備 考	
		事業名				普通期		面 積 ha	畑地かんがい		水田かんがい		畑地かんがい				平 均 m³/s			最 大 m³/s			
		区 画 整 理			計	計 画 平 均 mm/日	単 位 用 水 量 mm		計 画 代 掻 き mm	平 均 間 断 日 数 日	面 積 ha	計 画 平 均 mm/日	単 位 用 水 量 mm	計 画 代 掻 き mm	面 積 ha	一 日 当 た り 計 画 mm					平 均 間 断 日 数 日		面 積 ha
北上川 (※)		83.0 89.4			83.0 89.4	16, 19, 20, 24 19	133,134,130,129 129	83.0 89.4	〃 —	〃 —	〃 —				〃 —	〃 —	〃 —	0.253 0.205	〃 10	0.211 0.228	0.281		
ため池		3.1 24.8			3.1 24.8	20 19	130 129	3.1 24.8	〃 —	〃 —	〃 —				〃 —	〃 —	〃 —	0.010 0.080	〃 10	0.008 0.089	0.011		
間木沢川		19.5 —			19.5 —	20 —	130 —	19.5 —	〃 —	〃 —	〃 —				〃 —	〃 —	〃 —	0.059 —	10 —	0.049 —	0.066		
計		105.6 114.2			105.6 114.2			105.6 112.5										0.322 0.285		0.268 0.317	0.358		

(※) 北上川の揚水機場については一体で整備する農業用排水施設整備事業により整備するもの
(※) 減水深は平成27年の減水深調査結果により変更するもの

上段:変更後

下段:変更前

(2) 営農飲雑用水

//
該当なし

(第10表-1-2)

区分	利用目的	対 象 面 積 (ha)			日 当 た り 給 水 量		補給回数 (回)	関係戸数 (戸)	備 考
		事 業 名			単位給水量 (ℓ/日)	最大給水量 (ℓ/日)			
				計					

上段:変更後
下段:変更前

5. 水源計画

(1) 水利用計画

(第10表-2-2-1による)

項目 区分		消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不 足 量		水源依存量		水源工種	備考
		a	b	c=a-b	d=c/(1-α)	水源名	取水地 の利用 可能量	田畑面 利 用 可能量	純不足量	全不足量	水源名	水量		損失量: α
		(千m³)	(千m³)	(千m³)	(千m³)		e (千m³)	f (千m³)	g=c-f (千m³)	h=d-e (千m³)		(千m³)		
事業名	区画整理	2520.9 3302.0	〃 -	2520.9 3302.0	2801.0 3369.0	彦部第一揚水機場	4362.0 5338.0	〃 -	〃 0	〃 0		2801.0 3369.0		〃 0.1
						ため池	218.0 263.0	〃 -	〃 0	〃 0				
						間木沢川	774.0 -	〃 -						
	計	2520.9 3302.0	〃 0.0	2520.9 3302.0	2801.0 3369.0		4580.0 5601.0	〃 0.0	〃 0.0	〃 0.0	〃 -	2801.0 3369.0	〃 -	

上段:変更後

下段:変更前

(第10表-2-2-1)

区分		全 域		全 域		備 考
		現 況 (m³/s)		計 画 (m³/s)		
		代 掻 期	普 通 期	代 掻 期	普 通 期	
純 用 水 量		0.384 0.432	0.309 0.395	0.322 0.591	0.241 0.468	
損 失 水 量		0.043 0.076	0.034 0.070	0.036 0.066	0.027 0.083	
全 用 水 量		0.427 0.508	0.343 0.465	0.358 0.657	0.268 0.551	
利 用 可 能 量	北上川	0.594 0.663	0.440 0.556	0.574 0.663	0.423 0.556	
	ため池	0.111	0.046	0.024	0.020	
	間木沢川	-	-	0.093	0.070	
	計	0.705 0.663	0.486 0.556	0.691 0.663	0.513 0.556	
不 足 量		// 0	// 0	// 0	// 0	

上段:変更後
下段:変更前

(2) 用水対策

(ア) 井堰及び自然取入口

//
該当なし

(第10表-3)

項目 取水施設	河川名	流域面積(km ²)	かんがい面積 (ha)			取 水 量		渇水量(m ³ /s)	備 考
			事 業 名			最大(m ³ /s)	平均(m ³ /s)		
					計				

上段:変更後

下段:変更前

(イ) 貯 水 池

(第10表-4)

項目 取水施設	流域面積(km2)		かんがい面積 (ha)			有効貯水量 (千m³)	利用貯水量 (千m³)	利用回数 (回)	利用取水量 (m³/s)	備 考
			事 業 名							
	直接	間接	区画整理		計					
-	-	〃	-		-	-				
ため池1	0.1	-	8.3		8.3	0.8				
-	-	〃	-		-	-				
ため池2	0.1	-	0.6		0.6	0.7				
	〃	〃	3.1		3.1	30.0				
星山ため池	5.4	-	3.5		3.5	3.0				
-	-	〃	-		-	-				
ため池3	0.2	-	0.9		0.9	1.7				
	〃	〃	4.5		4.5	10.0				
沼津川ため池	0.7	-	6.4		6.4	15.0				
	〃	〃	-		-	10.0				
大星ため池	0.4	-	5.1		5.1	25.0				
			7.6		7.6					
計			24.8		24.8					

(ウ) 揚 水 機

(第10表-5)

項目 取水施設	水源名	かんがい面積 (ha)				所要水量		揚 水 機				備考
		事 業 名				最 大 (m³/s)	平 均 (m³/s)	実揚程 (m)	揚水量 (m³/s)	台 数 (台)	全揚水量 (m³/s)	
		区画整理			計							
彦部第一揚水機場 朝日田ポンプ場 上通りポンプ場	北上川 間木沢川 間木沢川	83.0			83.0	0.574		16.9	0.574	〃		
		89.4			89.4	0.66		11.4	40.0	2		
		9.0			9.0	0.031		16.0	0.031	1		
		18.4			18.4	0.062		16.0	0.062	1		

上段:変更後

下段:変更前

(第10表-6)

(エ) 用水路

項 目 名 称	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (m³/s)	延 長 (km)	構 造	備 考
	事 業 名						
	区画整理		計				
支線用水路	105.6 114.2		105.6 114.2	0.118 0.117	21.2 16.4	VU350～VU75 VU300～VU75	
計	105.6 114.2		105.6 114.2	0.118 0.117	21.2 16.4		

(オ) その他の水源施設

//

該当なし

(3) 水温水質

//

該当なし

上段:変更後
下段:変更前

第4節 排水計画

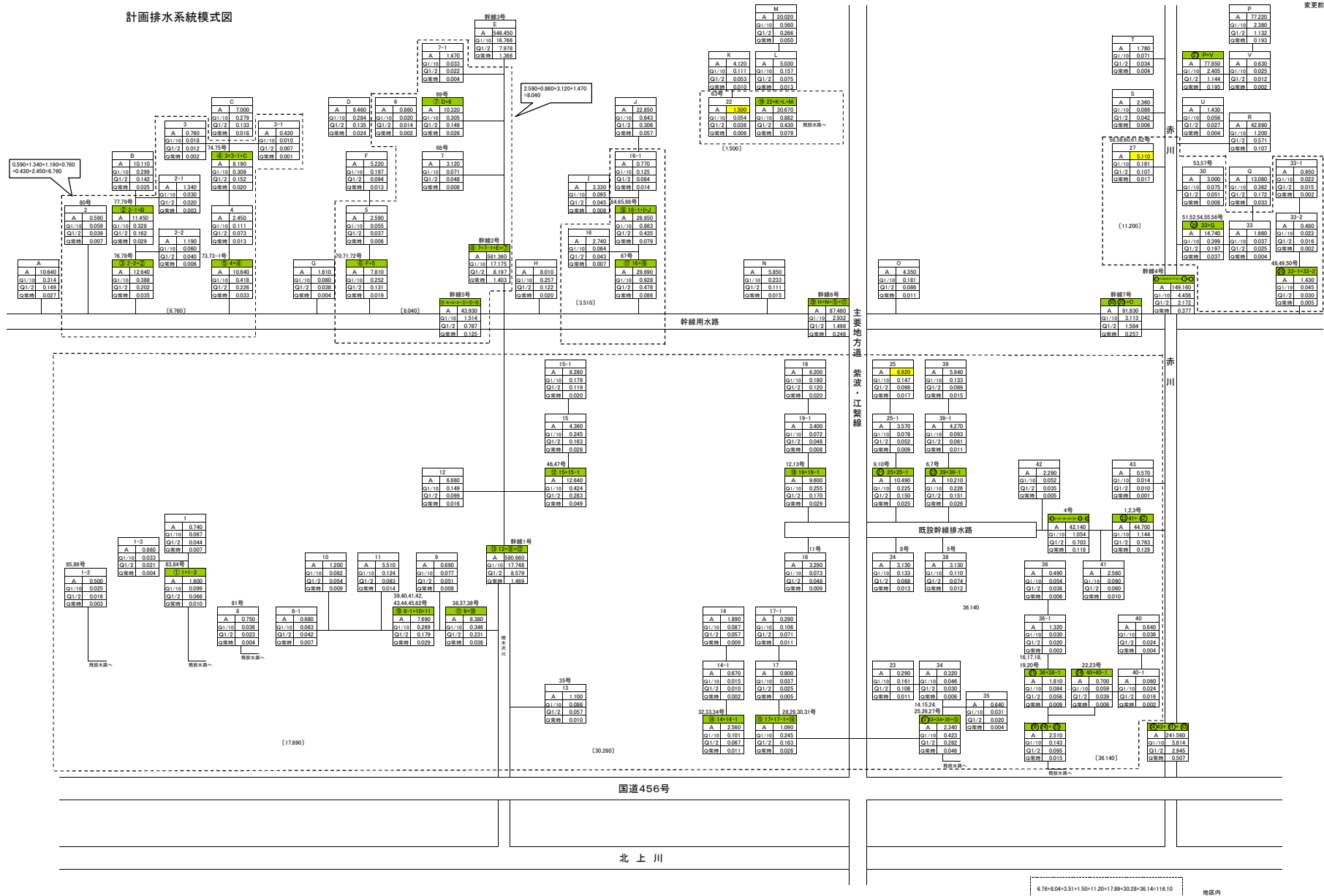
1. 計画基準雨量

最大	24 時間雨量	127.3 129.4 mm (1／10年)	81.3 81.6 mm (1／2年)
最大	4 時間雨量	66.2 67.0 mm (1／10年)	44.4 44.7 mm (1／2年)
最大	1 時間雨量	39.5 40.6 mm (1／10年)	21.5 21.8 mm (1／2年)

2. 計画排水方式

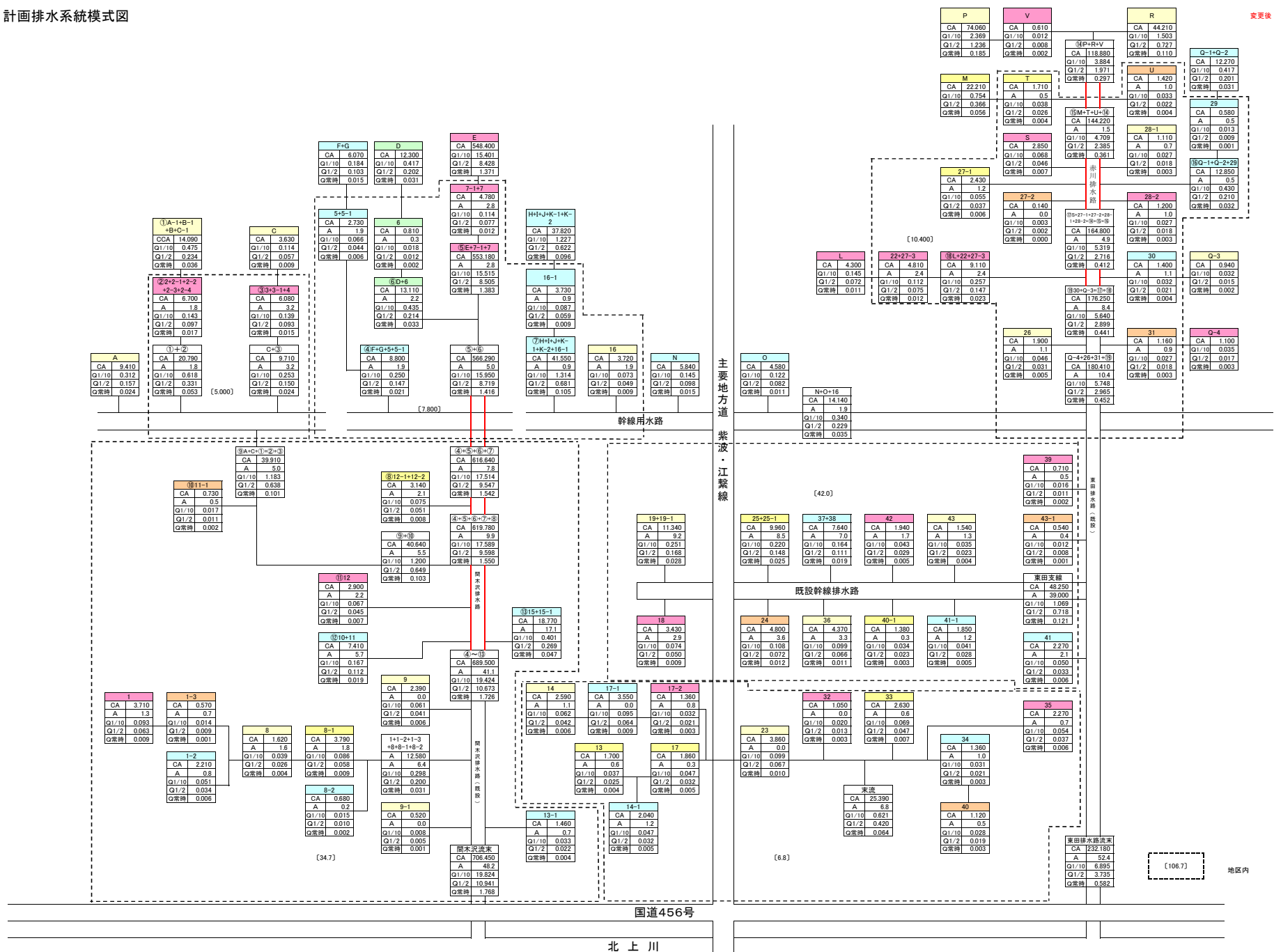
//
自然流下排水方式

計画排水系統模式図



変更前

計画排水系統模式図



上段: 変更後
下段: 変更前

4. 計画排水量

(第11-1)

排水 系統名	項目	受益面積(ha)		流域面積 (km ²)		基準 雨量 (mm)	降雨による 直接単位流出量 (m ³ /s/km ²)		基底流出量 (m ³ /s/km ²)		全排出量(m ³ /s)			単位排水量		備考	
		事 業 名					(m ³ /s/km ²)		(m ³ /s/km ²)		山地	平 地		(m ³ /s/km ²)			
		区 画 整 理	計	山地	平地							自然 排水	機械 排水				山地
						山地	平地	山地	平地	山地	平地			山地	平地		
北上川		106.7		106.7	8.08	1.70	127.3	3.4	1.38 ~2.99			25.78	1.90		3.4	1.38 ~2.99	〃 24時間雨量
		116.1		116.1	8.03	1.73	129.1	2.67 ~3.45	1.40 ~4.19			24.64	3.99		2.67 ~3.45	1.40 ~4.19	
					</												

上段:変更後
下段:変更前

5 排水対策

(1) 排水水門 該当なし

(第11表-2)

項目 名 称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計 画		排 水 本 川			備 考
		事 業 名			排水量 (m ³ /s)	地区内たん 水深(m)	名 称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
				計						

(2) 排水機 該当なし

(第11表-3)

項目 名 称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計画排水量		排 水 機				備 考
		事 業 名			排水量 (m ³ /s)	地区内たん 水深(m)	実揚程 (m)	排水量 (m ³ /s)	台 数 (台)	全排水量 (m ³ /s)	
				計							

(3) 排水路

上段:変更後
下段:変更前

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計画排水量 (m ³ /s)	延 長 (km)	構 造	排 水 本 川			備 考
		事 業 名						名 称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
		区画整理		計							
小排水路	0.9	47.9		47.9	2.1	12.5	HF300×300～ 800×800	〃	〃	〃	
	2.9	40.4		40.4	2.4	9.6	HF300×300～ 1000×1000	北上川	—	—	
幹線排水路	1.8	10.4		10.4	5.7	0.7	FL1100×800～ FL1300×800	〃	〃	〃	赤川
	0.5	10.8		10.8	0.3	0.9	BF1000	北上川	—	—	
幹線排水路	7.1	48.4		48.4	19.8	1.1	L型3200×1400～ L型4000×1600	〃	〃	〃	間木沢
	6.4	64.9		64.9	16.8	2.0	FL1100×800～ FL2200×1300	北上川	—	—	
計	〃 9.8	106.7 116.1		106.7 116.1		14.3 12.5					

上段:変更後
下段:変更前

(4) その他 ”
該当なし

6. たん水検討 ”
該当なし

第5節 道路計画

上段:変更後
下段:変更前

1. 道路及び索道

(第12表-1)

路線名 \ 項目	幅(有効)×延長 (m)	構 造	既設道路との関係	備 考
支線道路(A)	14,719 5.0(4.0)× 12,922	敷砂利 t=0.20、0.10m 敷砂利 t=0.10m	// 支線道路及び県道、町道と接続	
支線道路(B)	7.0(4.0)× 1,176 -	敷砂利 t=0.20m -	支線道路及び県道、町道と接続 -	
計	15,895 12,922			

//
該当なし

(第12表-2)

路線名 \ 項目	能 力 (t/hr)	延 長 (m)	接続道路名	備 考

2. 路線配置図

別添計画平面図(S=1/25,000)参照

上段: 変更後

下段: 変更前

第6節 農用地造成計画

上段:変更後
下段:変更前

1. 農用地造成計画 該当なし

(第13表－1)

項 目 地 目 名	主 要 作 物	自 然 傾 斜	耕 地 の 形 態	標準区画の形状	備 考

2. 土壌改良

//
該当なし

上段: 変更後
下段: 変更前

(第13表－2)

区 分	項 目	面 積 (km ²)	土壌統(区)名	PH		置換酸度 (Y1)	りん酸吸収 係 数 (mg/100g)	ha当たり所要量(t/ha)			備 考
				H2O	KCL			石 灰 (t)	りん酸質資材 (t)	有機質資材 (t)	

上段:変更後
下段:変更前

第7節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量 該当なし
2. 計画洪水量及び調節量 該当なし

(第14表-1)

地 点	流域面積 (km ²)	洪水 到達時間 (hr)	計 画 洪水量 (m ³ /s)	安 全 洪水量 (m ³ /s)	必 要 調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調 節 量 (m ³ /s)	ピーク時 調節後流量 (m ³ /s)	調 節 後 最大流量 (m ³ /s)	調節前後の 最大流量の差 (m ³ /s)	最 大 調節量 (m ³ /s)

3. 貯水池 該当なし

(第14表-2)

項目 貯水池名	流 域 面 積		計 画 洪水量 (m ³ /s)	貯 水 量			計 画 調節流量 (m ³ /s)	可 能 調節流量 (m ³ /s)	備 考
	直 接 (km ²)	間 接 (km ²)		有 効 (千m ³)	洪水 調節容量 (千m ³)	多目的 (千m ³)			

上段:変更後
下段:変更前

4 洪水調節検討 該当なし

(1) 河川改修計画との関係

(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響

(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

5. 管理計画 該当なし

(1) 管理機構

(2) ダム管理操作上の各種基準

(3) 洪水調節要領

第8節 干拓計画 該当なし

(第15表)

項 目 名 称	延 長 (m)	計画高潮(水)位 (IPM)	風向及び対岸距離 (km)	風 速 (m/s)	気 圧 (mb)	備考

第9節 農用地整備計画

上段:変更後

下段:変更前

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表－1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割 合 (%)	田 差 (m)	備 考
125×80	1.0	20.0	19	0.80	
－	－	－	－	－	
〃	〃	57.7	54	〃	
125×40	0.5	5.1	4	0.40	
〃	〃	16.1	15	〃	
100×30	0.3	86.7	76	0.20	
〃	〃	11.8	11	〃	
不定形	0.1～0.3	22.4	20	0.10	
畑	－	1.1	1	－	
計		106.7 114.2	100 100		

(2) 表土扱い

(第16表－2)

面 積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱 い 深 (cm)	土 量 (m ³)	備 考
105.6	〃	〃	158,400	水田
114.2	下層部にはグライ層が検出されており、粘質あるいは強粘質土が多いため、長年の耕作土を保持するため。	15	171,300	
1.1		20	2,200	畑

(3) 末端道水路配置図

//

別添参照

上段: 変更後

下段: 変更前

上段:変更後

下段:変更前

(第16表-3)

2. 暗渠排水

項 目 区 分	面 積 (ha)			土壌統(区)分	基準雨量 (mm/day)	単位排水量 (l/s/ha)	計画後の 地下水位 (m)	集水渠出口 以下の排水方 式	備 考
	事 業 名								
	区画整理		計						
〃 吸水渠間隔 10m	62.2 70.9 17.1 19.0 10.4 11.0 11.2 13.3		62.2 70.9 17.1 19.0 10.4 11.0 11.2 13.3	灰褐色土壌 強粘土構造型 灰褐色土壌粘土質 構造マンガン型 黒色土壌 粘土腐植型 黄褐色土壌 壤土マンガン型	〃 129 〃 129 〃 129 〃 129	〃 2.5 〃 2.5 〃 2.5 〃 2.5	〃 0.50 〃 0.50 〃 0.50 〃 0.50	〃 自然流下排水 〃 自然流下排水 〃 自然流下排水 〃 自然流下排水	〃 G60 〃 G61 〃 H72 〃 I83
計	100.9 114.2		100.9 114.2						

3. 客 土

//
該当なし

上段:変更後
下段:変更前

(第16表－4)

項 目 区 分	面 積 (ha)			土 壌 統(区)名	減水深 (mm/day)		作土の厚さ (cm)		10a当り 客土量 (m³)	土 壌 の 性 質		備 考
	事 業 名				現 況 平 均	計 画 平 均	現 況 平 均	計 画 平 均		受 益 地 (%)	採 土 地 (客土材料) (%)	
			計									
計												

上段:変更後
下段:変更前

4. 農地保全

//
(1)防災林 該当なし

(第16表-5-1)

項 目 区 分	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間 隔 (m)	備 考
計				

//
(2)排水工 該当なし

(第16表-5-2)

項 目 区 分	基準雨量 (mm/day)	土 性	流出率	排水量		備 考
				単位排水量 (m ³ /s/ha)	全排水量 (m ³ /s)	
計						

該当なし

下段:变更前

項 目 施設名	位 置	支配面積 (ha)	機 能	備 考
計				

上段:変更後
下段:変更前

第10節 老朽のため池改修計画

1 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量

//

該当なし

(2) 計画洪水量

//

該当なし

2. 堤体補強計画

//

該当なし

3. 取水施設改修計画

//

該当なし

上段:変更後
下段:変更前

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池 該当なし

(第17表－1)

名 称				位 置						備 考
堤 体	形 式	流域面積 (km)		堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤体質 (千m³)	基盤地盤 地 質	貯水量(千m³)		
		直 接	間 接					総貯水量	有効貯水量	

洪水吐	形 式	排水量 (m³/s)	備 考	取水施設	形 式	取水量 (m³/s)	放流施設	形 式	取水量 (m³/s)		

上段:変更後
下段:変更前

2. 頭首工 // 該当なし

(第17表-2)

名 称					位 置				備 考
形 式	堤 高(m)	堤 長 (m)			取 水 位 (m)	取 水 量 (m³/s)	付帯施設		
		固 定 部	可 動 部	計					

下段:变更前

3. 揚水機 該当なし

[illegible]

上段:変更後

下段:変更前

(第17表-4)

4. 用水路

項目 名称	かんがい面積 (ha)				通水量 (m ³ /s)	延長(km)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考
	事 業 名					総延長	開 渠	その他				
	農地整備事業 (経営体育成型) 区画整理	〃 農業用排水 施設整備	地区外	計								
支線水路	105.6 89.4	95.8 104.0	12.4 27.8	213.8 221.2	0.118 0.117	21.2 16.4	—	—	VU350～VU75 VU300～VU75	〃 1/600	—	
計	105.6 89.4	95.8 104.0	12.4 18.5	213.8 221.2	0.118 0.117	21.2 16.4						

5. その他かんがい施設 該当なし

上段: 変更後
下段: 変更前
(第17表-5)

項 目 施 設 名	構 造	規 模	数 量	備 考

上段: 変更後

下段: 変更前

第2節 排水施設

1. 排水水門

//
該当なし

(第18表-1)

項 目 名 称	位 置	形 式	構 造	内 水 位 (m)	外 水 位 (m)	排 水 量 (m ³ /s)	備 考

2. 排水機

//
該当なし

(第18表-2)

項 目 名 称	位 置	排水量 (m ³ /s)	揚 程		排 水 機			原 動 機			備考
			全揚程	実揚程	形 式	口 径 (mm)	台 数 (台)	形 式	動 力	台 数 (台)	

上段:変更後
下段:変更前

3. 排水路

(第18表-3)

項 目 名 称	受 益 面 積 (ha)			排水量 (m ³ /s)	延 長 (km)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考
	事 業 名										
	農地整備事業 (経営体育成型) 区画整理		計		総延長	開水路	その他				
小排水路	47.9 40.4		47.9 40.4	2.1 2.4	12.5 9.6	12.5 9.6	〃 —	HF300×300～ 800×800 HF300×300～ 1000×1000	〃 1/120～ 1/1300	〃 道路暗渠水槽	
幹線排水路	10.4 11.8		10.4 11.8	5.7 0.3	0.7 0.9	0.7 0.9	〃 —	FL1100×800～ FL1300×800 BF1000	〃 1/180	〃 道路暗渠水槽	
幹線排水路	48.4 81.9		48.4 81.9	19.8 16.8	1.1 2.0	1.1 2.0	〃 —	L型3200×1400～ L型4000×1600 FL1100×800～ 2200×1300	〃 1/190～ 1/260	〃 道路暗渠水槽	
計	106.7 134.1		106.7 134.1		14.3 12.5	14.3 12.5					

4. その他排水施設

〃
該当なし

第3節 道路及び索道

上段:変更後
下段:変更前

1. 道路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

項 目 区 分	路線名	幅(有効)(m)×延長(m)	構 造	付 帯 構 造 物			最 急 勾 配 (%)	同左の 延長 (m)	最小曲線 半径 (m)	備 考
				名 称	構 造	数 量 (個所)				
農地整備事業 (経営体育成型) 区画整理	支線道路(A)	14,719	敷砂利 t=0.20、0.10m	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
		5.0(4.0)× 12,922	敷砂利 t=0.10m	—	—	—	—	—	—	
	支線道路(B)	7.0(4.0)× 1,176	敷砂利 t=0.20m	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
		—	—	—	—	—	—	—	—	
	横断暗渠	〃 HP 500 等								
計		15,895m 12,922m								

上段:変更後
下段:変更前

(2) 道路主要構造物 〃 該当なし

(第19表-2)

項目 路線名	名称	規模構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	備考

2. 索道 〃 該当なし

(第19表-3)

項目 路線名	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原動機		備考
				型式	動力	

第4節 農用地造成

上段:変更後
下段:変更前

1. 農用地造成

//

(1) 抜根 該当なし

(第20表-1)

項 目 区 分	樹 種	樹 径 (cm)	ha当り本数 (本/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
計						

//

(2) 除礫 該当なし

(第20表-2)

項 目 区 分	対象土層の厚さ (cm)	ha当り標準礫量 (本/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
計					

(3) 開墾作業

該当なし

上段: 変更後
下段: 変更前

(第20表-3)

項 目		面 積 (ha)	工 法	備 考
区 分	地 目			
	造 成 工 法			
計				

2. 土壌改良

該当なし

(第20表-4)

項 目	面 積 (ha)	石 灰 量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備 考
路線名					
計					

第5節 洪水調節施設

//

1. 貯水池 該当なし

2. 頭首工及び導水路

//

(1) 頭首工 該当なし

(第21表－2)

名 称			位 置			計画洪水位 (m)	付帯施設等	備 考
			堤 長 (m)					
形 式	集水面積 (km ²)	堤 高 (m)	固定部	可動部	計			

//

(2) 導水路 該当なし

(第21表－3)

項 目 名 称	通水量 (m ³ /s)	延 長			構 造	勾 配	備 考
		総延長	トンネル	その他			

上段: 変更後
下段: 変更前

第6節 干拓施設

上段: 変更後
下段: 変更前

1. 堤防

〃
該当なし

(第22表-1)

項目 名称	形式	延長 (m)	構造					原地盤標高(m)		備考
			堤長標高(m)	盛土幅	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面	平均	最低	

2. 潮止め

〃
該当なし

(第22表-2)

項 目 名 称	工法	幅見 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備 考

3. 付属施設

〃
該当なし

4. 埋立

〃
該当なし

(第22表-3)

項 目 路線名	面 積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m ³)	施行方法	備 考
計					

第7節 農用地整備施設

上段:変更後
下段:変更前

1. 区画整理

(第23表－1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標準区間	土 量 (m3)	面 積 (ha)	土 量 (m3)	
星山・犬吠森	20	〃		20	30,000	t=15cm
	5.1	125×80		5.1	7,650	
	57.7	125×40		57.7	86,550	t=15cm
	85.0	100×40		85.0	127,500	
	16.1	100×30		16.1	24,150	t=15cm
	—	—		—	—	
	11.8	〃		11.8	17,700	t=15cm
	24.1	不定形		24.1	36,150	
	1.1	畑		1.1	2,200	t=20cm
計	106.7			106.7	160,600	
	114.2			114.2	171,300	

2. 暗渠排水

(第23表－2)

項目 区分	面積 (ha) 事業名			集 水 渠				吸 水 渠					集水渠出口以下の排水施設			備考
	区画整理		計	勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	延長 (m)	名 称	構 造	数量 (m/ha)	
吸水渠間隔 10m	100.9		100.9	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
	114.2		114.2	1/400	PEP	65	5,060	1/400	PEP	65	0.6 ～0.8	94,500	小排水路	排水フリューム	—	
計	100.9		100.9													
	114.2		114.2													

上段:変更後

下段:変更前

(第23表-3)

3. 客土

//
該当なし

項目 区分	面積 (ha)			客入土量 (m ³)	土捨て場土量 (m ³)	運搬距離 (km)	運搬方法	備考
	事業名							
			計					
計								

4. 除礫

//
該当なし

(第23表-4)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準 除礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工 法	備考
計					

5. 農地保全

〃
該当なし

上段: 変更後
下段: 変更前

(1) 防災林

(第23表-5)

項目 区分	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考
計						

(2) 排水路

〃
該当なし

(第23表-6)

項目 区分	延長 (m)	流量 (m³/S)	構造	備考
計				

(3) 侵食防止工

該当なし

上段: 変更後

下段:變更前

(第23表-7)

項 目 施 設 名	構 造	数 量	備 考
計			

上段:変更後
下段:変更前

第8節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池 該当なし

(第24表)

名 称					位 置			
堤 体	形 式	流 域 (km ²)	堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (m ²)	堤 頂 幅 (m)	貯 水 量 (千m ³)	備 考
洪水吐	形 式	洪 水 量 (m ³ /s)	規 格 (m)	備 考	取水施設	形 式	取 水 量 (m ³ /s)	備 考

2. 堤体補強施設

(1) 法面保護施設

該当なし

(2) 漏水防止工

該当なし

第6章 附帯工事計画

上段:変更後
下段:変更前

//
該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

工 期	着手	平成	// 26	年度
	完了	令和	8 5	年度

第8章 環境との調和への配慮

//
環境との調和への配慮として、ため池周辺に生育するエゾノミズタデの生育環境を損なわないよう、区画整理区域を設定したほか、林地帯沿いの区画計画は現地形に沿った区画形状とすることで、林地帯への影響を最小限に留め、生態系や景観に配慮した計画とする。

第9章 換地計画の概要

上段: 変更後
下段: 変更前

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

本地区は、紫波町中心部より東約2kmに位置し、北上川左岸に拓けた水田農業地帯である。
地区内の区画は10aと狭小なうえ、農道幅員は3.0m程度と狭く、大型機械の導入や農産物の搬出が円滑にできず、経営コスト低減への阻害要因となっている。また、農業用排水施設の維持管理にも大きな労力を要している。
このような状況を解消し、効率的かつ安定的な営農を展開するため、ほ場整備を行い、担い手である農業生産法人への農地利用集積の促進を図り、集約された農地で、担い手が継続して生産性・収益性の高い農業を実現するように換地計画を樹立する必要がある。

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)
全工区	紫波郡紫波町 大字星山・犬吠森地内	128.9 134.1
計		128.9 134.1

2. 換地区を設定する理由

該当なし

第3節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

上段:変更後
下段:変更前

〃

換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画の決定の日の登記簿地積とする。
但し、上記の日から2か月以内に土地家屋調査士の測量した実測図に、隣接所有者の承諾書を添付して申出があった場合にはその申出地積とする。

2. 用途別予定地積

(単位:ha) (第25表-3)

換地区名	用途 (取得予定者) 前 後	非農用地区域外に換地する土地											非農用地区域に換地する土地										機能交換に係る土地				一般 国 公 有 地	総 合 計	
		田	畑	山林・ 原野	その他	通常事業施工 地域に含める 土地(令第1条 の4()書き)			計	本事業によっ て生ずる土地 改良施設用地			合 計	特定用途用地			異 種 目 換 地	創設非農用地					合 計	国	県	市 町 村 他			合 計
						土地 改良 施設	そ の 他	小 計		改 良 区	そ の 他	小 計		宅 地	そ の 他	計		農 業 経 営 合 理 化 施 設 用 地	生 活 上 ・ 経 営 上 必 要 な 施 設 用 地	公 用 ・ 公 共 用 地 施 設 用 地	宅 地 等	計							
星山・ 犬吠森	従前の土地	115.9	0.0	0.3	0.5				116.7				116.7											〃		12.2	12.2		128.9
		119.3	0.8	0.5	0.3				120.9				120.9										-		13.2	13.2		134.1	
	換 地	105.6	1.1		〃				106.8	1.0			107.8							0.2		0.2	0.2	〃		20.9	20.9		128.9
		114.2	1.9		0.1				116.2	0.0			116.2							0.3		0.3	0.3	-		17.6	17.6		134.1
	従前の土地																												
	換 地																												
	従前の土地																												
	換 地																												
	従前の土地																												
	換 地																												
	従前の土地																												
	換 地																												
合 計	従前の土地	115.9	0.0	0.3	0.5				116.7				116.7													12.2	12.2		128.9
		119.3	0.8	0.5	0.3				120.9				120.9												13.2	13.2		134.1	
	換 地	105.6	1.1		〃				106.8	1.0			107.8							0.2		0.2	0.2	〃		20.9	20.9		128.9
		114.2	1.9		0.1				116.2	0.0			116.2							0.3		0.3	0.3	-		17.6	17.6		134.1

上段:変更後
下段:変更前

3. 農用地集団化の方針

(第25表-4)

区 分 換地区名	地帯別、グループ別 団 地 の 設 定	個 人 別 換 地 の 方 法		
		位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取り扱い
〃 全工区	担い手を中心に営農グループ別集団化を図る。 担い手を中心に集落別 地目別集団化を図る。	〃 各人の従前の土地を勘案しながら 育成すべき経営体への農用地の利 用集積を図る。	〃 1～2団地	〃 原則として標準区間を単位に交付するが、 換地すべき面積が標準区画に交付して 余る場合又は、不足する場合は標準区 画を分割して交付する。交付する場合は 長辺に沿って分割する。

4. 非農用地換地の方法

(第25表-5)

区 分 換地区名	用途	非農用地区域の 位置の概略	面積 (㎡)	換地の方法	換地取得予定者	その他
〃 全工区	〃 県道拡幅	〃 おおむね従来どおり	2,309.28 3,200	〃 不換地・特別減歩 による創設用地	〃 岩手県	〃 県道紫波・江繋線用地

第4節 土地の評価及び清算の方法

上段:変更後
下段:変更前

1. 評価の方法

〃
標準地比準方式

2. 清算の方法

〃
増価額・比例地積清算方法

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

区分 換地区名	一時利用地の指定 予 定 年 度	換地計画の決定 予 定 年 度	換 地 処 分 予 定 年 度	備 考
〃 全工区	平成29～令和7年度 平成26～令和4年度	令和8年度 令和5年度	令和8年度 令和5年度	確定測量 令和5～6年度 令和4年度

第6節 換地処分 of 時期に関する特則

本地区については、地区の全体について区画整理工事が完了し、確定測量が行われた時は土地改良法第89条の2第10項により準用する同法第54条第2項の本文の規定ただし書きに基づき換地処分を行うことができる。

該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

上段:変更後
下段:変更前

(単位: %、千円)

事業区分	事業費		資金計画							
			国費		県費		市町村費		受益者負担	
			負担率	金額	負担率	金額	負担率	金額	負担率	金額
農地整備事業 (経営体育成型) 区画整理		2,340,000		1,170,000		702,000		117,000		351,000
	純工事費	1,572,000		786,000		471,600		78,600		235,800
		117,000	〃	58,500	〃	35,100	〃	5,850	〃	17,550
	測量試験費	131,000		65,500		39,300		6,550		19,650
		59,000	50	29,500	30	17,700	5	2,950	15	8,850
	用地買収補償費	21,000		10,500		6,300		1,050		3,150
		143,000		71,500		42,900		7,150		21,450
	換地費	82,000		41,000		24,600		4,100		12,300
		2,659,000		1,329,500		797,700		132,950		398,850
	計	1,806,000		903,000		541,800		90,300		270,900
		-	〃	-	〃	-	〃	-	〃	-
	事務費	0		0		0		0		0
		-	50	-	30	-	5	-	15	-
	工事雑費	0		0		0		0		0
		2,659,000		1,329,500		797,700		132,950		398,850
	総事業費計	1,806,000		903,000		541,800		90,300		270,900

第11章 効 用

上段: 変更後
下段: 変更前

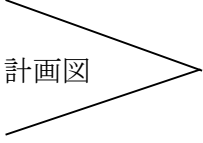
区 分 効果項目	区画整理				備 考
	便益額 (千円)	所得額 (千円)	便益額 (千円)	所得額 (千円)	
農業生産向上効果 (作物生産効果)	46,930 40,441	△ 6,389 △ 3,957			
農業経営向上効果 (営農経費節減効果)	173,248 109,405	195,977 110,638			
農業経営向上効果 (維持管理費節減効果)	△ 5,564 △ 7,919	2,569 △ 3,696			
その他効果 (耕作放棄防止効果効果)	0				
生活環境整備効果 (非農用地等創設効果)	12 7	- 0			
その他効果 (国産農作物安定供給効果)	10,254				
計	224,880 141,934	192,157 102,985			1.21 総費用総便益比 1.14

第12章 関連する事業

上段:変更後
下段:変更前

区分	事業名	事業主体	受益面積(ha)	事業内容
〃 主要工事	〃 農地整備事業(経営体育成型) 農業用排水施設 星山・犬吠森地区	〃 県	195.6 221.2	〃 揚水機、用水路

第13章 現況・計画図面

- | | | |
|-------------------|--|-------|
| 1. 現況平面図 |  | 別 〃 途 |
| 2. 計画平面図及び土地利用計画図 | | |
| 3. 主要構造図 | | |



星山・犬吠森地区 計画平面図【変更後】

S=1:2,500

凡 例	
一定区域	---
計画水田	■
計画畑	■
計画道路	■
計画排水路	■
パイプライン用地	■
新設用地	■
暗渠排水	■
幹線用水路	■
道路既設利用	■
排水路既設利用	■
用排水施設整備受益	■

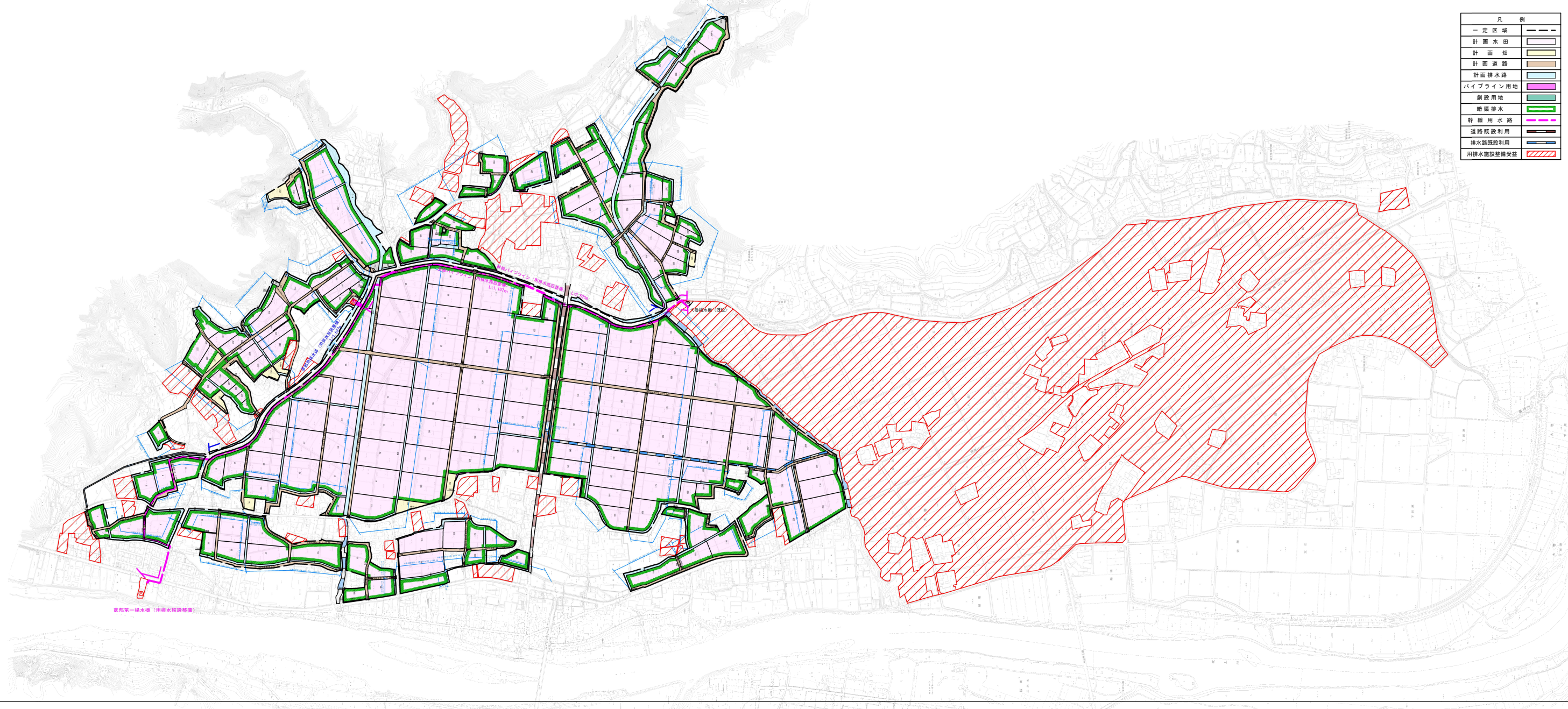


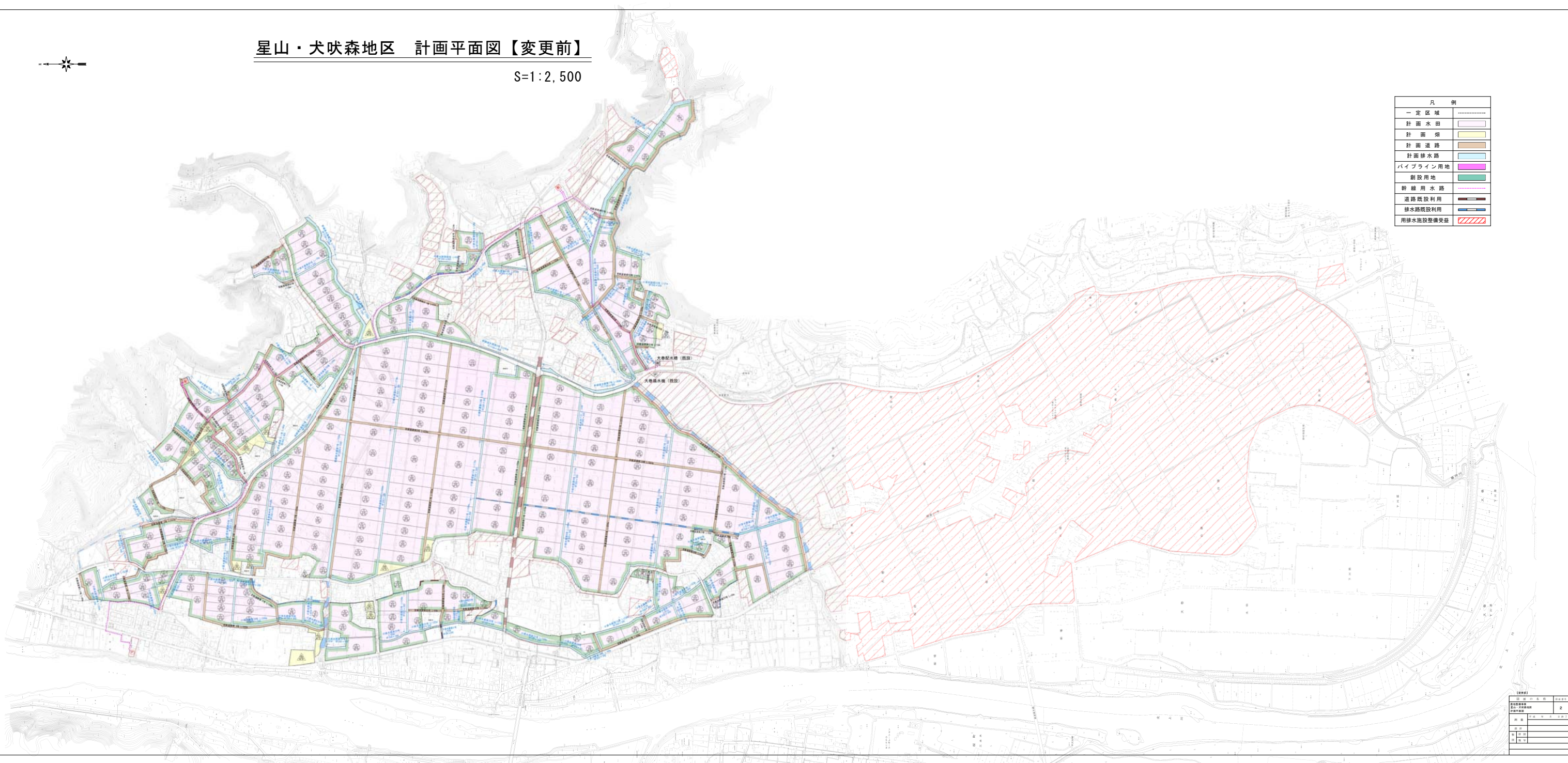
図 名	星山・犬吠森地区 計画平面図【変更後】
図 号	1
縮 尺	1:2,500
作 図	
検 査	
決 定	



星山・犬吠森地区 計画平面図【変更前】

S=1:2,500

凡 例	
一定区域	-----
計画水田	
計画畑	
計画道路	
計画排水路	
パイプライン用地	
創設用地	
幹線用水路	
道路既設利用	
排水路既設利用	
用排水施設整備受益	



【資料】	
資料名	2
資料番号	
資料内容	
資料形式	
資料備考	

岩手県 星山・犬吠森地区 農振土地利用計画図

【変更後】

S=1:25,000



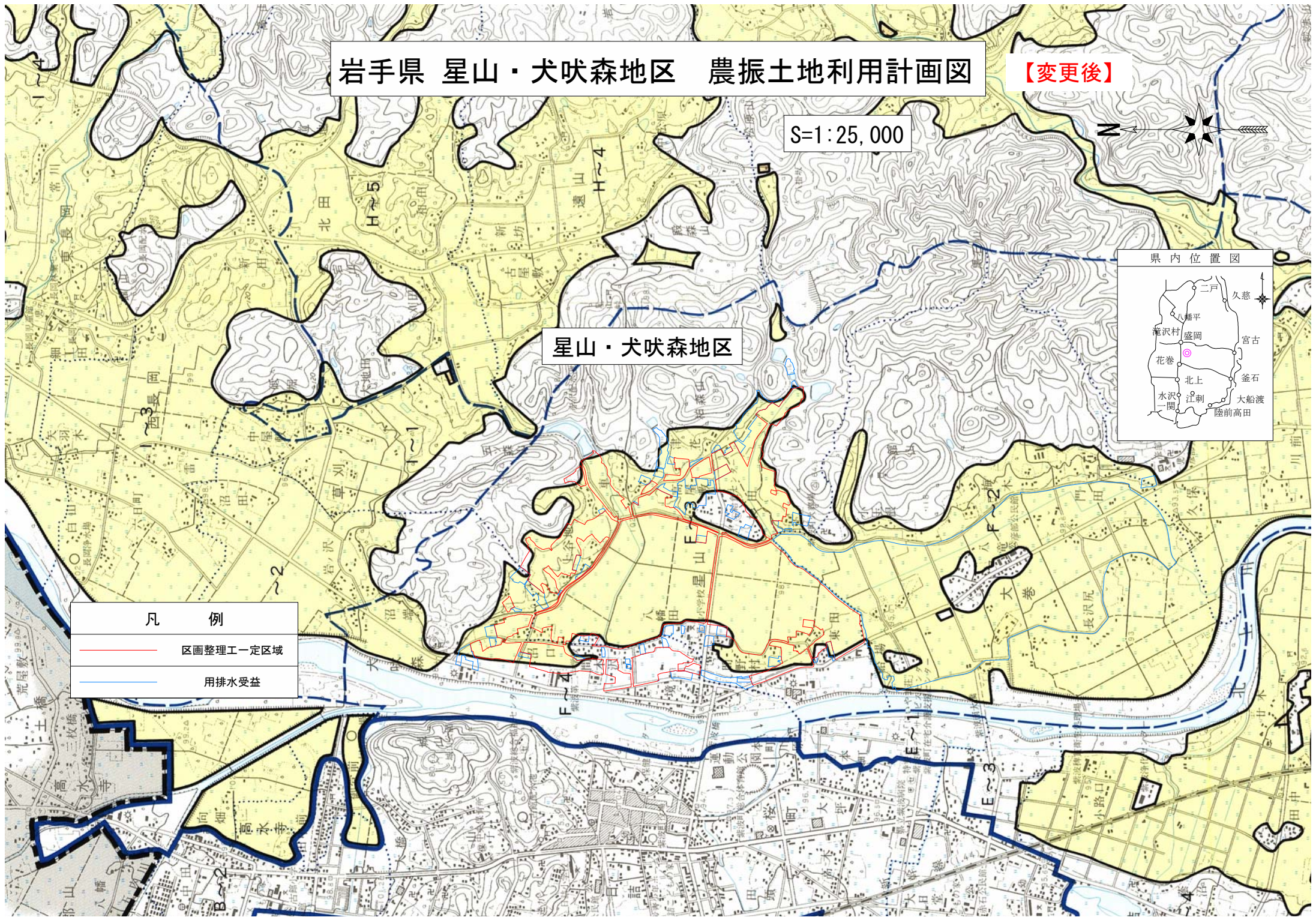
星山・犬吠森地区



凡 例

区画整理工一定区域

用排水受益



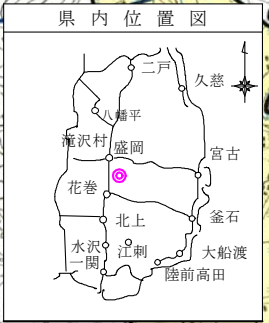
岩手県 星山・犬吠森地区 農振土地利用計画図

【変更前】

S=1:25,000



星山・犬吠森地区



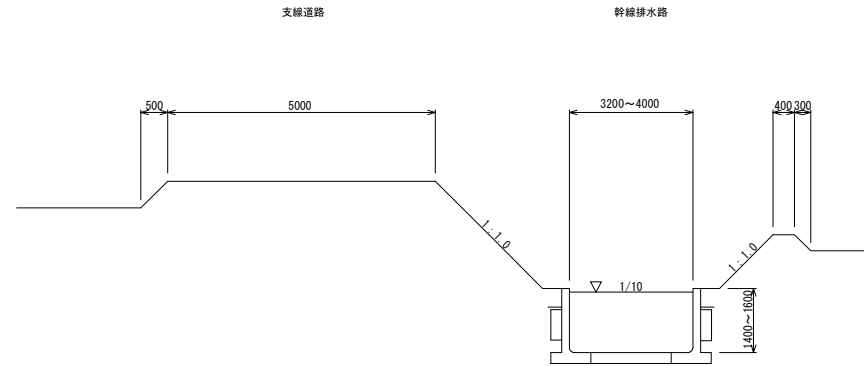
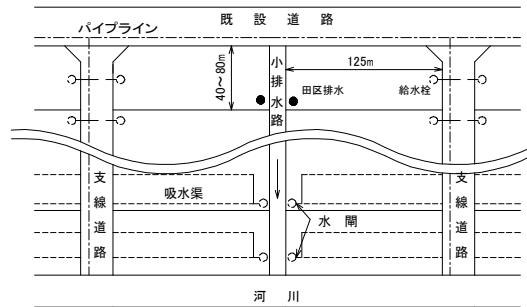
凡 例	
	区画整理工一定区域
	用排水受益
	市 町 村 界
	農 協 振 興 地 域 界
	農業地区域及び用途区分界
	地 区 ・ 区 域 界
A	地 区 ・ 区 域 番 号
	農 地
	農 業 用 施 設 用 地

主要構造図

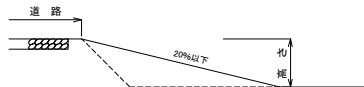
幹線排水路（間木沢川）

変更後

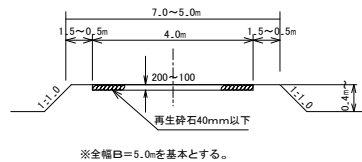
標準区画割図



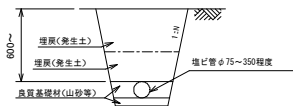
進入路工



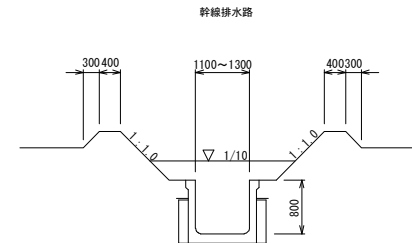
支線道路工



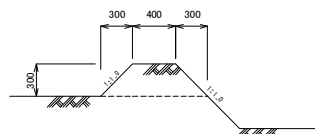
用水路工 パイプライン



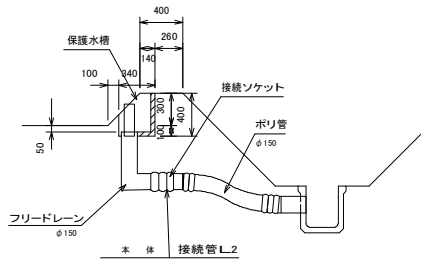
幹線排水路（赤川）



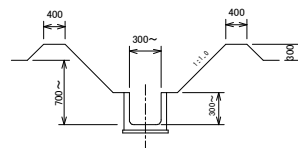
畦畔工



田区排水工

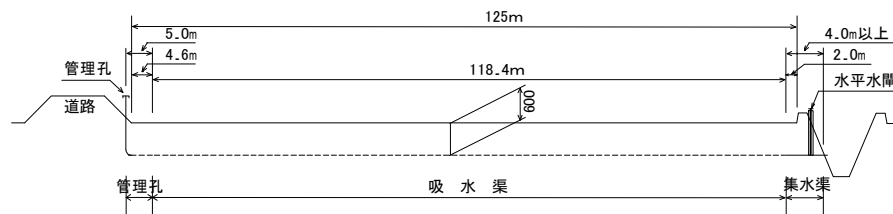


小排水路（舗装）



暗渠排水工 ドレンレイヤー工法

縦断図



吸水渠断面図



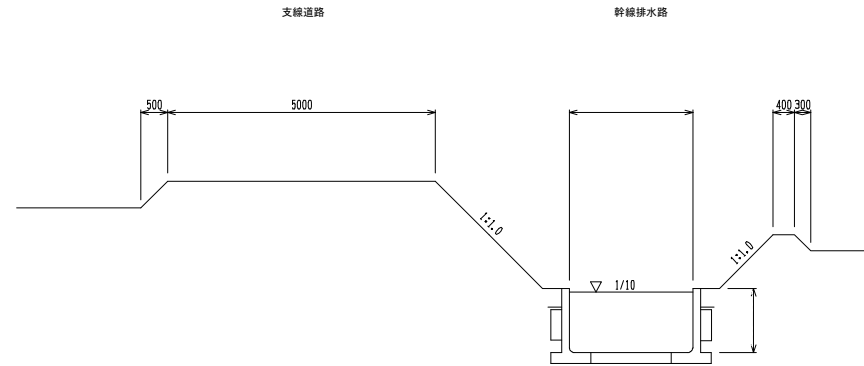
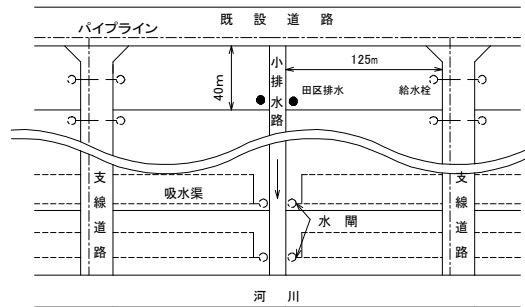
図面の名称		図面番号
星山・大炊森地区主要構造図		
変更後		
測量	平成 年 月 日 終了	
設計		
製図		
図検等		

主要構造図

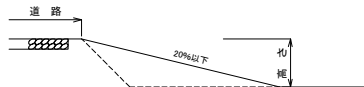
幹線排水路（間木沢川）

変 更 前

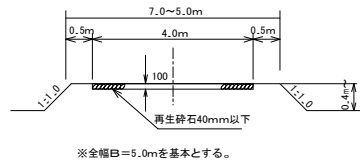
標準区画割図



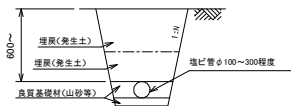
進入路工



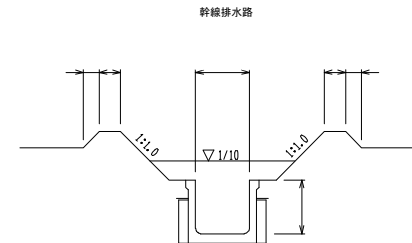
支線道路工



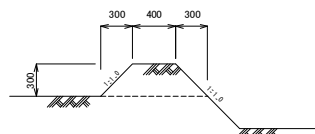
用水路工 パイプライン



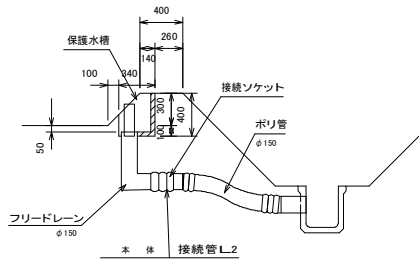
幹線排水路（赤川）



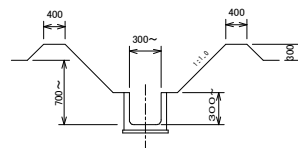
畦畔工



田区排水工

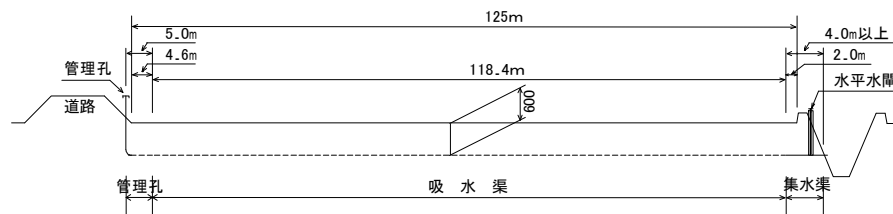


小排水路（舗装）

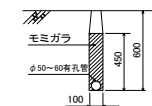


暗渠排水工 ドレンレイヤー工法

縦断図



吸水渠断面図



図面の名称		図面番号
星山・犬伏森地区主要構造図 変更後		
測量	平成 年 月 日 終了	
設計		
製図		
図検等		